

産炭地域活性化基金の成果等に関する調査報告書

平成24年9月

財団法人 長崎県産炭地域振興財団

- 目 次 -

第 1 調査概要	1
1 調査の目的	1
2 調査対象及び調査方法	1
第 2 助成実績と事業の成果	3
1 総括的事項	3
(1) 年度別助成実績	3
(2) 事業の成果	4
人口の推移	4
販売農家の推移	4
事業所数の推移	5
観光客延べ宿泊数の推移	5
2 個別事業の成果等	7
(1) 企業誘致等促進支援事業	7
工業団地整備支援	7
企業誘致・地場企業支援	8
次世代産業育成	8
ア．太陽光エネルギー関連	9
イ．長崎次世代エネルギーパーク（ハウステンボス）関連	9
ウ．蓄光材開発関連	11
エ．オリーブ栽培事業の普及・啓発関連	11
(2) 観光・物産振興支援事業	12
観光関連	12
ア．観光関連施設整備等	12
イ．文化財保存・整備関係	28
ウ．観光イベント・プロモーション事業	29
物産関連	31
ア．物産振興施設整備等	31
イ．物産プロモーション	34
(3) 企画調査支援事業	35
(4) 炭鉱跡地活用等支援事業	36
(5) 特認事業	37
新規就労促進施設整備等支援事業	37
地域振興プロジェクト等支援事業	37
知事特認事業	38

第 1 調査概要

1. 調査の目的

財団法人長崎県産炭地域振興財団では、石炭鉱業の構造調整の進展に即応した先行的な地域振興対策等を実施するため、平成 8 年度から 10 年度にかけて、長崎県から 45 億円（うち国庫補助 30 億円）の出えんを受け、「産炭地域活性化基金」を造成した。

その運用益を活用し、平成 10 年度から「産炭地域活性化基金助成事業」として旧産炭地域 1 市 8 町（現 3 市の一部）の活性化を図るための市町、民間団体等の活動に対する助成事業を開始し、平成 19 年度の基金取崩型への制度変更、対象地域拡大（旧 1 市 8 町から旧産炭地域全域の旧 3 市 19 町（現 6 市 4 町の一部）へ拡大）を経て、運用益を含む基金全額を活用のうえ、平成 23 年 12 月 27 日の基金設置期限到来をもって基金を廃止したところである。

この 14 年間の助成実績は、累計で 361 件、約 51 億 5 千万円（うち平成 19 年度の基金取崩型への制度変更後 268 件、約 48 億 5 千万円）に上っている。

本調査は、この間の助成対象事業の成果を検証し、この基金が旧産炭地域の活性化に果たした役割を明らかにすることを目的とする。

2. 調査対象及び調査方法

産炭地域活性化基金助成事業は、平成 10 年度の事業開始から平成 23 年 12 月の基金廃止までの間、361 件、約 51 億 5 千万円の助成を実施しており、その内訳は、基金運用益活用型であった平成 10 年度から平成 18 年度までで 93 事業（助成総額 300,544 千円）、基金取崩型へ制度変更した平成 19 年度以降で 268 事業（助成総額 4,849,421 千円）となっている。

本報告書を取りまとめるに当たり、基金運用益活用型で事業を実施した平成 18 年度以前の 93 事業については、

事業完了から相当期間が経過し、各事業主体においても記録が散逸しているものが多いと想定されること

対象地域が長崎産炭地域経済生活圏（旧 9 市町、現 3 市）に限定されていたこと

基金運用益活用型であったことなどから、事業規模（助成金額）が比較的小さいこと等から平成 18 年度以前の事業については、年度別の助成件数及び助成金額の整理にとどめ、平成 19 年度以降の 268 事業を調査対象とした。

調査は、対象 268 事業を実施した 100 の事業主体（平成 22 年 3 月、鹿町町が佐世保市に編入合併されたことに伴い、実数 99）に対してアンケート形式で事業成果の報告を求め、寄せられた回答を産炭地域振興財団事務局でとりまとめるとともに、必要に応じ、各助成事業完了報告書、既存統計資料等により補足した。

（アンケート調査実施期間：平成 24 年 1 月 4 日（水）～ 1 月 31 日（火））

対象地域：旧3市19町（現6市4町の一部）

市町名	
現市町	旧市町
長崎市	香焼町
	伊王島町
	高島町
	外海町
佐世保市	佐世保市
	江迎町
	鹿町町
	小佐々町
	吉井町
	世知原町
大村市	
平戸市	田平町
松浦市	松浦市
	福島町
西海市	西海町
	大島町
	崎戸町
	大瀬戸町
東彼杵町	
川棚町	
波佐見町	
佐々町	
10 市町	22 市町

第2 助成実績と事業の成果

1. 総括的事項

(1) 年度別助成実績

産炭地域活性化基金の助成実績は下表のとおりである。

運用益活用型であった平成10～18年度では93の事業に対し300,544千円、基金取崩型となった平成19～23年度では268の事業に対し4,849,421千円の助成を行っており、全体の助成実績は、361事業、5,149,965千円であった。

(単位：件、千円)

年度	採択年度別			助成金交付年度別		備考
	件数	助成対象経費	助成金額	件数	助成金額	
10	5	40,303	19,220	5	19,220	運用益活用型
11	5	48,482	22,750	5	22,750	
12	7	161,798	25,655	7	25,655	
13	14	116,976	35,398	14	35,398	
14	8	43,179	18,954	8	18,954	
15	17	126,171	50,402	17	50,402	
16	16	126,916	58,129	16	58,129	
17	11	78,497	39,223	11	39,223	
18	10	111,287	30,813	10	30,813	
10～18小計	93	853,609	300,544	93	300,544	
19	30	634,227	347,784	25	180,358	基金取崩型
20	42	843,570	565,506	44	671,267	
21	76	1,841,699	1,062,225	59	431,884	
22	115	4,125,673	2,814,256	84	1,269,090	
23	5	168,065	59,650	100	2,296,822	
19～23小計	268	7,613,234	4,849,421	312	4,849,421	
合計	361	8,466,843	5,149,965	405	5,149,965	

平成19年度以降は、事業期間が複数年度にまたがる事業があったこと、概算払い制度により、1つの事業に対する助成金を複数回に分けて交付した事業があったこと等により、「採択年度別」と「助成金交付年度別」の件数、年度ごとの助成金額は一致しない。
助成対象事業の実数は、「採択年度別」欄記載の361事業である。

(2) 事業の成果

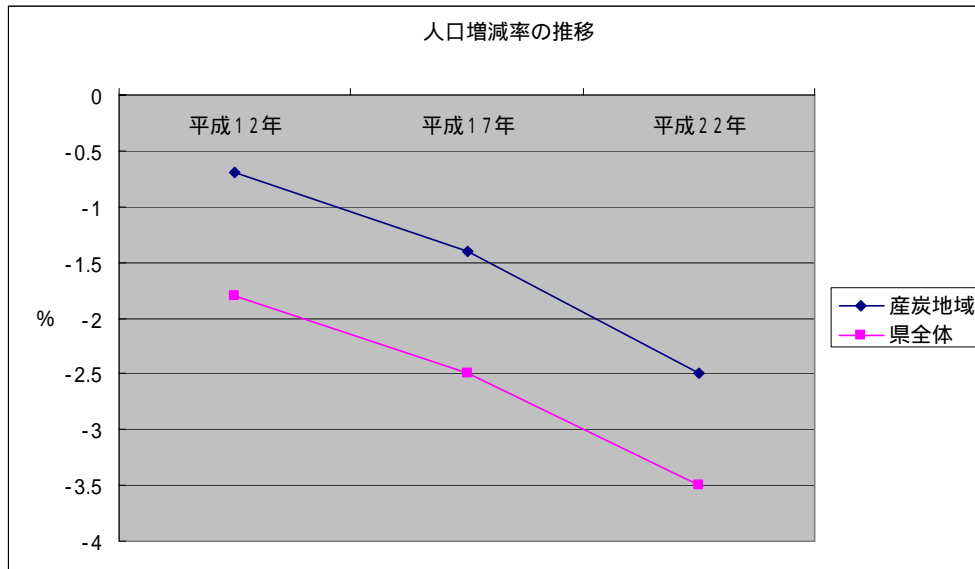
人口の推移

人口動態を増減率の推移で見ると、産炭地域の人口減少は県全体よりも緩やかなものとなっている。

(単位：人、%)

区分	旧市町村数	平成7年	増減率	平成12年	増減率	平成17年	増減率	平成22年
県全体	79	1,544,934	-1.8	1,516,523	-2.5	1,478,632	-3.5	1,426,779
産炭地域	22	485,124	-0.7	481,687	-1.4	475,043	-2.5	463,072

資料：総務省「国勢調査」



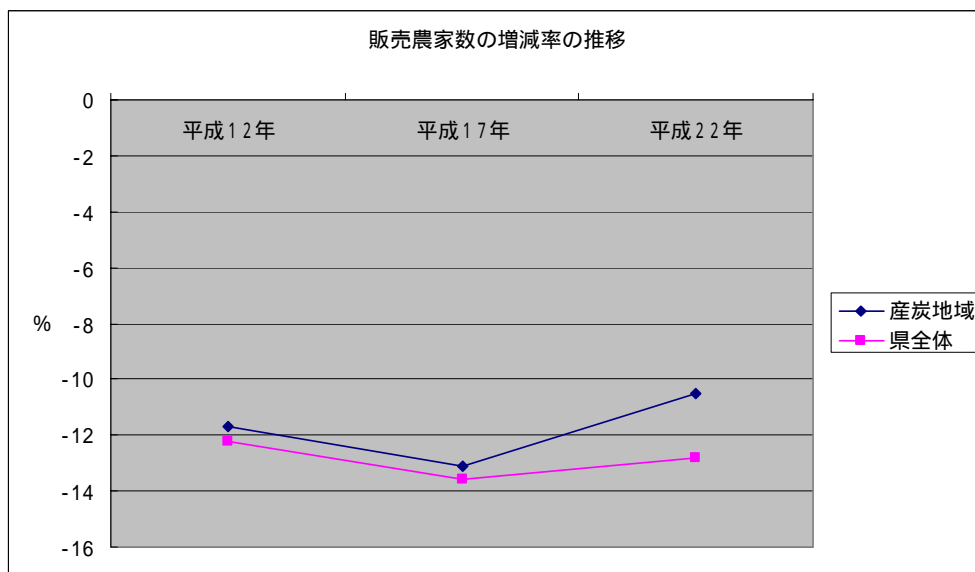
販売農家の推移

販売農家数の増減率の推移においても、産炭地域の減少は県全体よりも緩やかなものとなっている。

(単位：戸、%)

区分	旧市町村数	平成7年	増減率	平成12年	増減率	平成17年	増減率	平成22年
県全体	79	37,629	-12.2	33,055	-13.6	28,544	-12.8	24,887
産炭地域	22	10,531	-11.7	9,297	-13.1	8,080	-10.5	7,229

資料：農林水産省「農林業センサス」



事業所数の推移

事業所数の増減率の推移においては、平成 12 年度までは産炭地域の減少率は他地域を上回っていたが、平成 17 年度から産炭地域の減少は県全体よりも緩やかになっている。

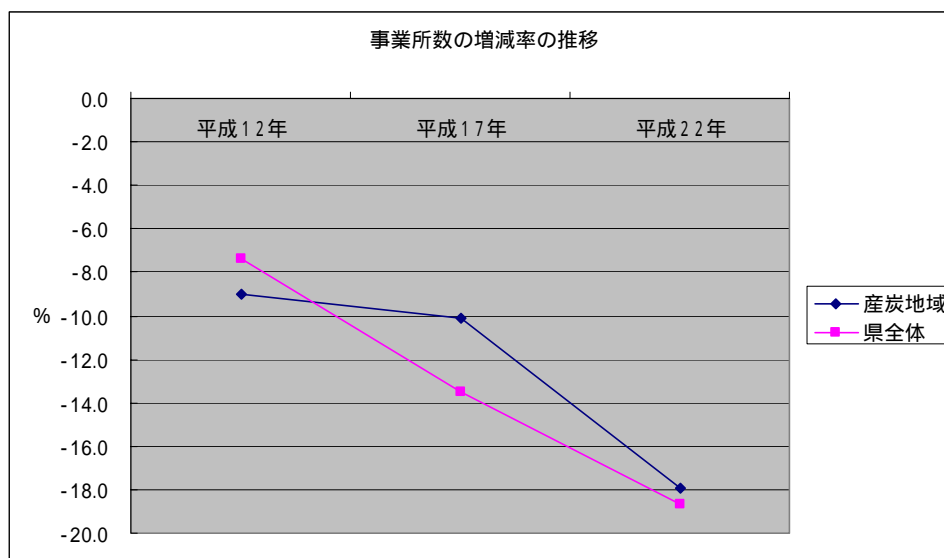
区分	旧市町村数	平成 7 年	増減率	平成 12 年	増減率	平成 17 年	増減率	平成 22 年
県全体	79	3,082	-7.4%	2,853	-13.5%	2,467	-18.7%	2,006
産炭地域	17	1,012	-9.0%	921	-10.1%	828	-17.9%	680

資料：経済産業省「工業統計表」

平成 17 年、平成 22 年の調査では、旧市町村単位では集計されていないところがある。

旧市町村単位で集計されていない市町村のうち、長崎市は産炭地域とそうでない地域とが混在しているので、産炭地域から除外する。

旧市町村単位で集計されていない市町村のうち、佐世保市は宇久町以外、松浦市は鷹島町以外、西海市は西彼町以外は産炭地域であるため、産炭地域とする。



また、産炭地域活性化基金助成事業では、企業誘致等促進支援事業により産炭地域の企業誘致を支援しており、長崎県の産業振興構想(H12～22)に基づく誘致実績においては誘致企業 84 社のうち 50 社が産炭地域であることは、産炭地域活性化基金助成事業も一定の役割を担ったものと考えられる。

観光客延べ宿泊数の推移

観光客延べ宿泊数の増減率の推移においては、産炭地域は増減率の波が大きいものの、概ね県全体を上回っている。

(単位：人、%)

区分	旧市町村数	平成 7 年	増減率	平成 12 年	増減率	平成 17 年	増減率	平成 22 年
県全体	79	7,885,369	-2.1	7,721,958	-13.5	6,677,226	-14.4	5,714,250
産炭地域	17	1,782,270	27.3	2,268,256	-23.1	1,743,576	-5.4	1,649,562

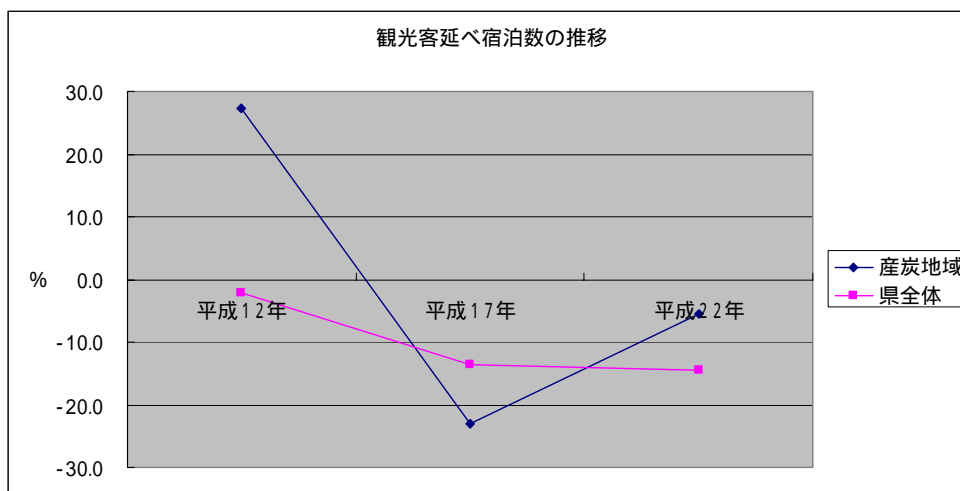
資料：長崎県観光課調べ

平成 17 年、平成 22 年の調査では、旧市町村単位では集計されていないところがある。

旧市町村単位で集計されていない市町村のうち、長崎市は産炭地域とそうでない地域とが混在しているので、産炭地域から除外する。

旧市町村単位で集計されていない市町村のうち、佐世保市は宇久町以外、松浦市は鷹島町以外、西海市は西彼町以外は産炭地域であるため、産炭地域とする。

旧市町村単位で集計されていない市町村のうち、平戸市は田平町以外は産炭地域でないため、産炭地域から除外する。



以上のように、増減の要因は様々な要素が複雑に絡み合っており、一概に言及することはできないが、各指標における産炭地域の数値は県全体に比べ概ね良く、平成10年度開始の活性化基金助成事業は、一定の効果を挙げてきたものと考えられる。

2. 個別事業の成果等

本項では、平成 19 年度以降の主な助成事業の概要・成果等を整理する。

原則として助成メニューに沿って整理するが、例えば、工業団地整備や観光・物産振興のための情報発信施設等のハード整備事業実施に先立つ基礎調査、実施設計等、当該ハード整備事業と密接な関係があると判断される事業は当該ハード整備事業等、一連の関連事業の基幹となる事業の項目に掲載し、「地域振興プロジェクト等支援事業」(特認事業)として実施した事業であっても、その事業の主目的が観光・物産振興にある場合は「観光・物産支援事業」の項目に掲載する等、メニュー上の区分よりも実際の事業目的を優先した整理を行うこととする。

なお、産炭地域活性化基金助成事業は、平成 19 年度以降 268 件の事業が実施されており、全ての事業を網羅した記載は困難であることから、事業規模、地域活性化効果等を勘案し、主な事業を抽出して記載することとする。

(1) 企業誘致等促進支援事業

工業団地整備支援

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	佐世保市	吉井町御橋工業団地再整備事業	遊休地となっていた企業用地の再整備	48,183	36,137	H21.9.10～ H22.3.31	工業団地整備支援
21	鹿町町	深江地区企業用地整備事業	旧職業訓練校跡地を企業用地として活用するための建物、構築物の撤去	24,150	18,112	H21.9.25～ H22.1.29	工業団地整備支援
19	大村市	オフィスパーク大村KL区画造成事業	自動車関連企業が立地する工業用地について、造成整備を実施する。	92,913	44,227	H19.4.1～ H20.1.31	工業団地整備支援
20	松浦市	平野工業団地内道路整備事業	平野工業団地内における道路整備による機能強化	81,884	54,588	H20.8.20～ H21.3.30	工業団地整備支援
22	西海市	七釜適地インフラ整備事業	企業誘致適地の水源確保のための施設整備	50,868	38,151	H22.7.9～ H23.3.31	工業団地整備支援
22	東彼杵町	工業団地配水池増設事業	東そのぎグリーンテクノパーク、赤木工業団地への配水池増設	34,634	25,975	H23.3.14～ H23.11.4	工業団地整備支援
22	東彼杵町	高度情報通信基盤整備事業	彼杵臨港団地、赤木工業団地への光ファイバ敷設	12,648	8,431	H22.12.21～ H23.6.30	工業団地整備支援
21	長崎県土地開発公社	波佐見テクノパーク第1取付道路拡幅事業	波佐見テクノパーク取付道路の下り車線に左折帯を整備	20,705	15,528	H21.6.1～ H22.5.31	工業団地整備支援
21	長崎県土地開発公社	波佐見テクノパーク第2取付道路整備事業	波佐見テクノパークへの新たな取付道路整備	199,750	116,168	H21.7.23～ H23.11.30	工業団地整備支援
22	波佐見町	波佐見テクノパーク工業用水源開発事業	波佐見テクノパーク工業用水確保のための水源掘削等	22,544	16,907	H22.12.8～ H23.6.10	工業団地整備支援

- ・工業用地の造成整備や工業用水源の確保、工業用道路・光ファイバ通信網の整備等工業団地機能の強化等を実施した。
- ・これにより、佐世保市、大村市、西海市において新たな企業誘致や地場企業の工場増設がなされて雇用の増加、生産力の増強につながっており、その他についても道路整備による物流の効率化や通勤時間帯における渋滞の緩和、工業用水の安定供給、高速通信基盤の整備等、既存企業の生産性、利便性の向上、新たな企業誘致に向けた用地確保や競争力の強化などが図られている。

企業誘致・地場企業支援

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
19	松浦水産(株)	加工場等整備事業	養殖ブリや養殖フグを加工する施設を新設し、雇用の増加を図る。(企業立地奨励金への上乗せ補助)	25,648	2,564	H19.2.23～ H19.10.19	企業誘致・ 地場企業支援
21	総和工業(株)	企業誘致支援事業	市の立地奨励金に対する上積み助成	12,504	1,250	H20.5.21～ H21.1.27	企業誘致・ 地場企業支援
21	(株)山口マシナリー	地場企業支援事業	市の立地奨励金に対する上積み助成	30,276	3,027	H20.5.21～ H21.1.27	企業誘致・ 地場企業支援
21	キリンフーズ(株)	地場企業支援事業	市の立地奨励金に対する上積み助成	76,736	7,673	H20.5.21～ H21.1.27	企業誘致・ 地場企業支援
21	鷹島運送(有)	水産物加工場等整備事業用地購入	市の立地奨励金に対する上積み助成	26,105	2,610	H19.9.10～ H20.2.15	企業誘致・ 地場企業支援
22	(株)山口マシナリー	地場企業支援事業	市の立地奨励金に対する上積み助成	2,474	1,649	H21.5.20～ H22.4.6	企業誘致・ 地場企業支援
22	(株)富士商工	地場企業支援事業	県・市の立地奨励金に対する上積み助成	107,007	71,338	H21.5.18～ H22.2.9	企業誘致・ 地場企業支援
22	キリンフーズ(株)	地場企業支援事業	市の立地奨励金に対する上積み助成	4,351	2,900	H21.5.20～ H22.2.9	企業誘致・ 地場企業支援
22	大新技研(株)	地場企業支援事業	市の立地奨励金に対する上積み助成	2,625	1,750	H21.4.30～ H22.2.9	企業誘致・ 地場企業支援
22	九州新生電子(株)	企業誘致支援事業	市の誘致奨励金に対する上積み助成	99,488	9,948	H22.6.11～ H22.10.12	企業誘致・ 地場企業支援
23	(株)白浜工業	地場企業支援事業	県の立地促進補助金に対する上積み助成	13,649	4,844	H22.10.13～ H22.11.11	企業誘致・ 地場企業支援
23	ハマックス(株)	地場企業支援事業	県の立地促進補助金に対する上積み助成	24,539	8,709	H22.10.5～ H22.11.11	企業誘致・ 地場企業支援
23	協和機工(株)	地場企業支援事業	県の立地促進補助金に対する上積み助成	57,598	20,443	H22.12.10～ H22.12.14	企業誘致・ 地場企業支援
23	近江鍛工(株)	地場企業支援事業	県の立地促進補助金に対する上積み助成	35,834	12,719	H22.3.10～ H22.3.29	企業誘致・ 地場企業支援
23	松浦水産(株)	地場企業支援事業	県の立地促進補助金に対する上積み助成	36,445	12,935	H22.3.24～ H22.3.31	企業誘致・ 地場企業支援

- ・ 県・市町の立地促進補助金等の対象となる民間企業の工場等の新・増設に対する支援を行うことで、企業立地、設備投資を促進して生産能力の向上、収益性の安定、営業力の強化、雇用の安定等を図り、約70名の新規雇用を創出した。

次世代産業育成

- ・ 次世代産業の育成を図るため、太陽電池関連技術の開発や小中学校への太陽光発電設備の導入、「長崎次世代エネルギーパーク¹」(ハウステンボス)の整備と普及啓発などの太陽光エネルギー関連、高輝度・長期残光性能を有した蓄光材・蓄光製品の開発、これまで県内ではあまり取り組まれて来なかった新規作物であるオリーブに関する栽培適地・事業可能性調査や実証植樹を通じた普及啓発等、次世代産業技術の開発と普及啓発に対する支援を実施した。

¹ 次世代エネルギーパーク：経済産業省(資源エネルギー庁)が整備を促進した新エネルギー等の国民の理解増進を図るための地域拠点。「長崎次世代エネルギーパーク」は2007年10月、全国で初めて認定された6つの次世代エネルギーパークの一つ。

ア．太陽光エネルギー関連

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	中興化成工業(株)	太陽電池一体型膜構造用膜材料の開発事業	建築用膜材料に太陽光発電セルを一体化させた新製品の試作開発	50,228	33,485	H21.9.2～ H23.8.31	次世代産業育成
21	(株)ツジデン	フレキシブル太陽電池用の基板開発と市場調査	太陽電池用フィルム基板の開発	52,923	35,282	H22.1.22～ H22.12.31	次世代産業育成
21	大村市	小学校太陽光発電導入支援事業	公立小学校への太陽光発電設備導入	78,912	63,129	H22.2.5～ H23.3.14	次世代産業育成
21		中学校太陽光発電導入支援事業	公立中学校への太陽光発電設備導入	36,517	29,213	H22.5.21～ H23.2.28	次世代産業育成

イ．長崎次世代エネルギーパーク（ハウステンボス）関連

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
19	クリーンエナジープ実用化研究会	化石燃料を使用しない電気推進旅客船の開発	商業電源とソーラーパネルからの充電による動力源とする船舶の実用化に向けた技術開発を目指す。	20,027	15,000	H19.11.1～ H20.3.31	次世代産業育成
20			太陽光発電などを利用した船舶の実用化	16,001	12,000	H20.7.22～ H21.3.31	
21			太陽光発電を利用した船舶の実用化	21,624	16,217	H21.9.2～ H22.3.31	
20	ハウステンボス(株)	長崎次世代エネルギーパーク太陽光発電設備整備事業	長崎次世代エネルギーパークの中核施設として、ハウステンボス内にNEDO(独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構)との共同研究による大規模太陽光発電設備を整備	365,062	273,037	H20.7.28～ H21.3.13	その他の特認
20	長崎次世代エネルギーパーク運営協議会	長崎次世代エネルギーパーク展示施設等整備事業	長崎次世代エネルギーパークや新エネルギー関連設備、県内の新エネルギー関連企業等を紹介するための展示施設整備	19,826	14,869	H20.9.2～ H21.3.31	その他の特認
21	長崎次世代エネルギーパーク運営協議会	長崎次世代エネルギーパーク普及啓発事業	電気自動車試乗会等の開催	1,505	1,125	H21.8.17～ H22.7.31	観光物産(ソフト)
計				444,044	332,248		

- ・「長崎次世代エネルギーパーク」の一環として、化石燃料を使用しない電気推進旅客船の開発、新エネルギー関連展示施設の整備、大規模太陽光発電設備の整備、電気自動車試乗会の開催等を実施し、新エネルギー等への理解促進を図った。

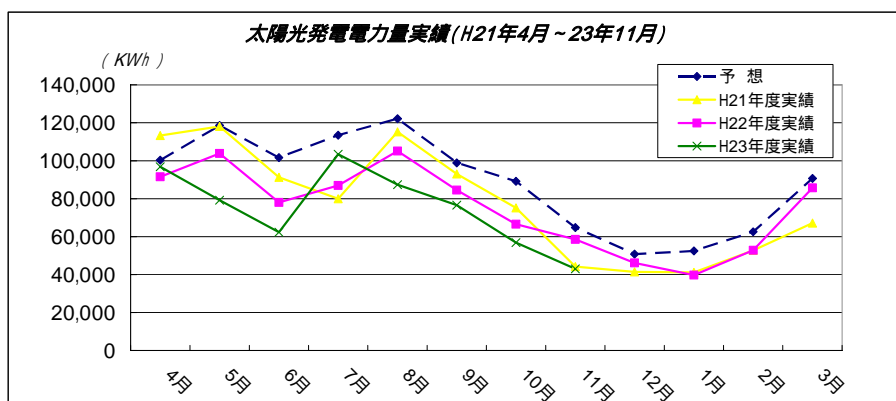
クリーンエナジープ（左） 次世代エネルギーパーク太陽光発電設備（右）



写真：ハウステンボス web サイト

<http://www.huistenbosch.co.jp/aboutus/energy/index.html>

< 太陽光発電設備の発電実績 >



[太陽光発電電力量データ]

(単位:KWh)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
予 想	100,256	118,557	101,606	113,427	122,129	98,907	89,135	64,773	50,773	52,477	62,585	90,652
H23年度実績	96,811	79,167	62,327	103,361	87,400	76,554	56,913	43,038				
H22年度実績	91,535	103,799	78,063	86,971	105,107	84,527	66,522	58,584	46,136	39,732	52,802	85,716
H21年度実績	113,243	118,034	91,235	79,989	115,259	93,015	75,210	44,254	41,400	41,209	52,747	67,103

< 環境設備見学者数の推移 >

(単位:人)

	2008年度	2009年度	2010年度
ハウステンボス 総入場者数	1,869,000	1,413,000	1,738,000
次世代エネルギーパーク テーマ館入場者数	-	328,851	330,534
環境設備見学者数	7,781	7,739	7,433

ウ．蓄光材開発関連

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
20	環境に優しい蓄光材の開発と利活用研究会	長期残光性能を有する蓄光製品の開発	より明るく、残光時間の長い蓄光材の開発 実証試験用の製品の製作 実証試験と評価の実施	10,730	8,047	H20.9.2 ~ H21.3.31	次世代産業育成
21			より明るく、残光時間の長い蓄光材及び白色蓄光材の開発	8,167	6,124	H21.9.2 ~ H22.3.31	次世代産業育成
22			高輝度で残光時間が長く、経済性に優れた蓄光製品の開発	20,375	15,281	H22.9.1 ~ H23.2.28	次世代産業育成
22	蓄光材の応用製品開発研究会	蓄光材の応用製品開発	屋外の過酷な条件でも利用可能な蓄光製品の開発	6,474	4,316	H22.4.30 ~ H23.9.30	次世代産業育成

エ．オリーブ栽培事業の普及・啓発関連

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	(財)ながさき地域政策研究所	産炭地のオリーブによる地域振興計画策定事業	オリーブ栽培適地、事業可能性等の調査	9,340	6,825	H21.9.4 ~ H22.3.31	次世代産業育成
22		オリーブによる地域振興事業	オリーブの実証植樹と商品化の検討	14,409	10,806	H22.9.1 ~ H23.3.31	次世代産業育成
22	(株)堀内組	オリーブによる地域振興事業	オリーブのほ場整備・植樹と普及啓発、ブランド化のためのコンセプト・デザイン検討	70,661	47,107	H23.3.1 ~ H23.11.30	次世代産業育成

(2) 観光・物産振興支援事業

観光関連

ア. 観光関連施設整備等

(ア) 長崎・西海地区

i) 伊王島・高島地区

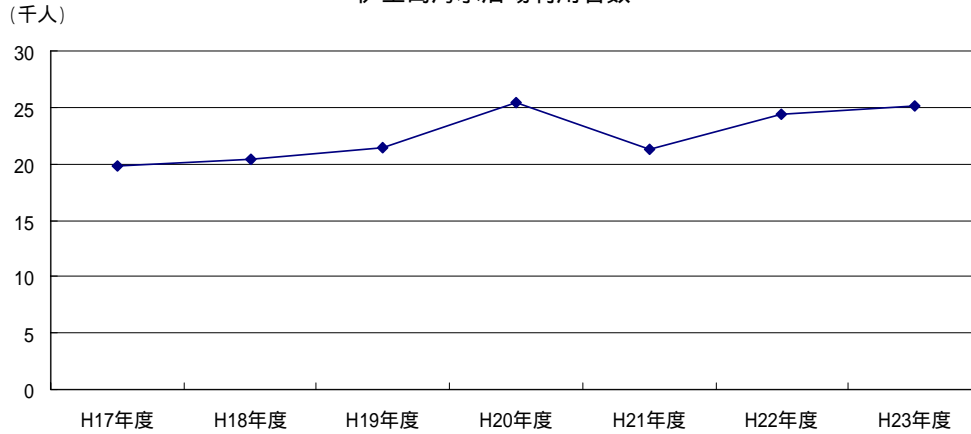
(a) 伊王島

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	長崎市	エコさるく3島巡り	電動アシスト自転車を購入し、観光客向けにレンタル(伊王島・高島・池島)	1,921	1,440	H21.7.16~H21.12.25	観光物産(ハード)
22		近隣公園整備事業費(伊王島灯台公園)	公園園路広場の整備	8,342	6,091	H22.10.1~H23.2.9	観光物産(ハード)
22		近隣公園整備事業費(伊王島灯台公園)(第2次)	公園園路広場の整備	15,752	11,800	H23.7.22~H23.11.30	観光物産(ハード)
22		伊王島多目的グラウンド整備事業	駐車場及び多目的グラウンド等の整備	110,918	50,000	H22.4.1~H22.12.31	観光物産(ハード)
22		伊王島誘導板設置事業費	伊王島大橋供用開始に向けた島内誘導板の整備	5,592	3,750	H23.1.28~H23.3.25	観光物産(ハード)
22	(株)KPG HOTEL& RESORT	伊王島大橋開通に伴う島内地域情報発信施設「長崎市やすらぎ伊王島施設」整備強化事業	パーク&ライド構想に基づく二次交通推進設備の整備強化、案内看板の整備等	64,199	42,799	H23.1.14~H23.6.30	観光物産(ハード)

- ・伊王島地区は、長崎港から約10km(船で約20分)という地理的条件を生かしたリゾートの島として親しまれてきた。
- ・長崎港との間を結ぶ船が唯一の本土との交通手段であったが、平成23年3月27日の伊王島大橋開通により、本土(長崎市香焼町)と橋で結ばれることとなった。
- ・橋の開通に伴い、車の流入及び観光客の増加が予想される一方、従来離島であった伊王島の道路は狭隘な部分が多く、駐車場も十分でなかったことから、長崎市では、「パーク・アンド・ウォーク・サイクル」を基本とした交通体系の整備を目指し、「やすらぎ伊王島」の隣接地に駐車場(普通車約80台、大型バス3台、二輪車約20台)及び多目的グラウンド(面積約34,500㎡)、クラブハウス(観光インフォメーション)を整備するとともに、伊王島灯台公園の整備、島内誘導案内板の設置等を実施した。
- ・また、「やすらぎ伊王島」の指定管理者である(株)KPG HOTEL& RESORTにおいても、駐車場と施設を結ぶ送迎用電動カートの整備や案内誘導サインの整備等を実施しており、平成23年4月~12月の同施設の利用者数は、伊王島大橋の開通効果もあって対前年比約260%(+約197千人)となっている。

伊王島海水浴場利用者数



(出典)事業主体報告データを基に産炭財団事務局作成

(b) 高島

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
19	長崎市	軍艦島整備事業	軍艦島を新たな観光資源として活かすため、上陸用施設等を整備する。	103,737	50,000	H19.4.1 ~ H21.3.31	炭鉱跡地活用
21		飛島磯釣り公園整備事業	磯釣り公園の設備の改修	6,262	4,696	H21.11.16 ~ H22.3.29	観光物産 (ハード)
22		飛島磯釣り公園施設整備事業費	磯釣り公園釣場釣り台補修のための設計委託及びトイレの水洗化	28,965	21,723	H22.12.2 ~ H23.11.21	観光物産 (ハード)
22		飛島磯釣り公園施設整備事業費 (第2次)	磯釣り公園釣場釣り台の補修	14,850	11,137	H23.4.28 ~ H23.10.20	観光物産 (ハード)
22		高島トマト生産施設改修整備事業	地域雇用の場、魅力的な「食」と「交流」の資源である高島トマト生産施設の改修整備	10,185	7,638	H23.7.13 ~ H23.9.21	観光物産 (ハード)

- ・長崎市高島町の端島（軍艦島）は、1974年（昭和49年）1月15日に炭鉱が閉山し、同年4月に最後の住民が島を離れて以来、30年以上にわたって無人島となっていたが、近代化産業遺産への関心の高まりを受けて、長崎市による上陸用施設、島内通路等の観光見学施設の整備が行われ、平成21年4月以降、一般観光客の上陸が可能となっている。
- ・平成21年1月には「九州・山口の近代化産業遺産群」の構成資産の一つとして世界遺産暫定リストに掲載されたことなどもあって上陸者数は毎年増加しており、平成23年12月までの累計は22万人に上っている。

端島見学施設事業概要

整備内容：栈橋整備 既存ドルフィン栈橋改修、端島への連絡橋架設

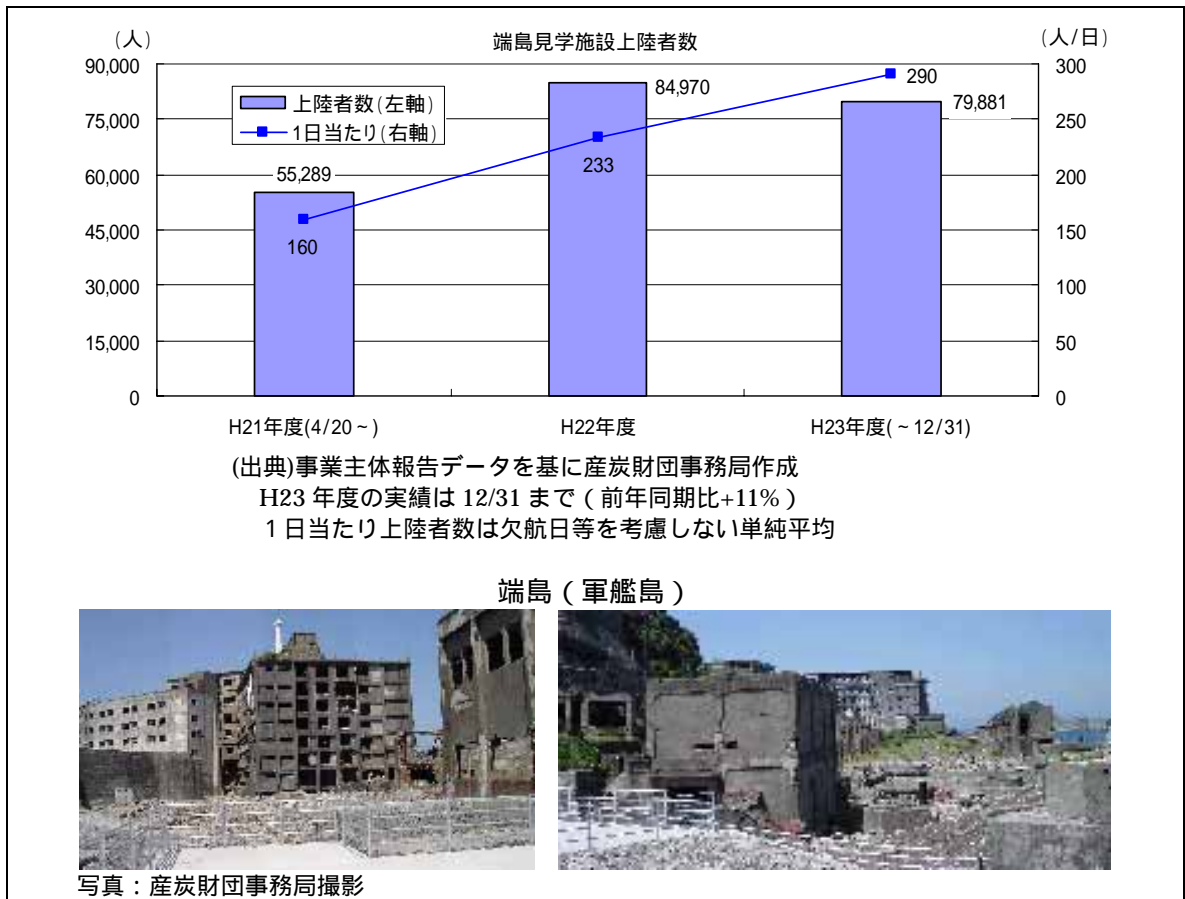
見学通路 幅2m、延長約230m

見学広場 3ヶ所（210㎡、110㎡、150㎡）

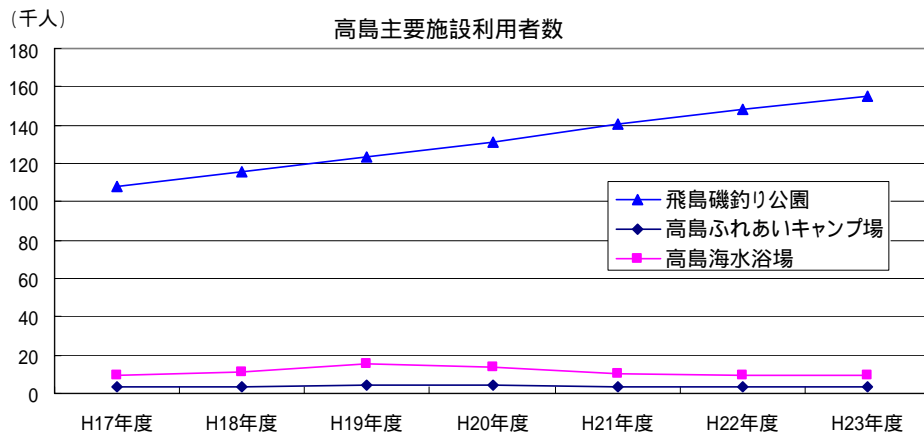
整備効果：平成21年4月20日供用開始

初年度（H21.4.20～H22.3.31）上陸実績55,289人（当初予想25,000人）

軍艦島上陸ツアー事業者5者が運航（H23年度現在）



- ・また、高島本島部においては、飛島磯釣り公園のトイレ水洗化や施設改修、海水浴場やふれあいキャンプ場の改修等の事業が実施されており、磯釣り公園の利用者は年々増加している。



(出典)事業主体報告データを基に産炭財団事務局作成

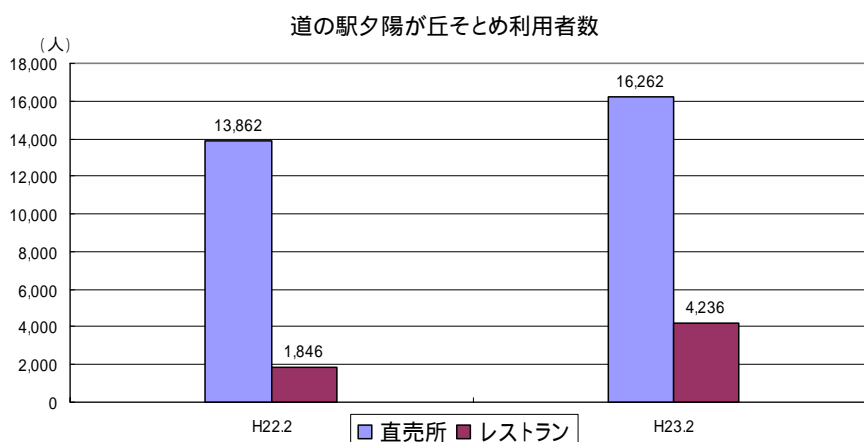
ii) 外海・池島地区

(a) 外海（道の駅 夕陽が丘そとめ）

（単位：千円）

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	長崎市	道の駅夕陽が丘そとめ施設整備事業	直売所、レストラン等の拡張整備のための実施設計、土質調査	3,601	2,700	H21.8.20 ~ H21.10.21	観光物産（ハード）
22			道の駅（直売所、レストラン等）の拡張整備	60,306	44,501	H22.6.4 ~ H23.3.31	観光物産（ハード）

- ・道の駅夕陽が丘そとめは、産炭基金新産業創造等基金助成事業²を活用して整備され、平成18年4月、長崎市内で初めての道の駅としてオープンした。
- ・美しい夕陽の眺め、地域の農林水産物やド・ロ様そうめんなどの特産品等の直売、地産地消による地元産品を食材とした田舎料理や姉妹都市ヴォスロール地方の家庭料理などが人気を集め、施設が手狭になったことから、長崎市では、直売所、レストランの拡張整備、テイクアウト館の新設等を実施した。
- ・その結果、直売所及びレストランでそれぞれ前年比117.3%、229.5%と利用者の増加が図られている。



(出典)事業主体報告データを基に産炭財団事務局作成
 レストラン利用者数は、テイクアウト館を含む。
 H23.2は供用開始後

道の駅「夕陽が丘そとめ」



写真提供：長崎市



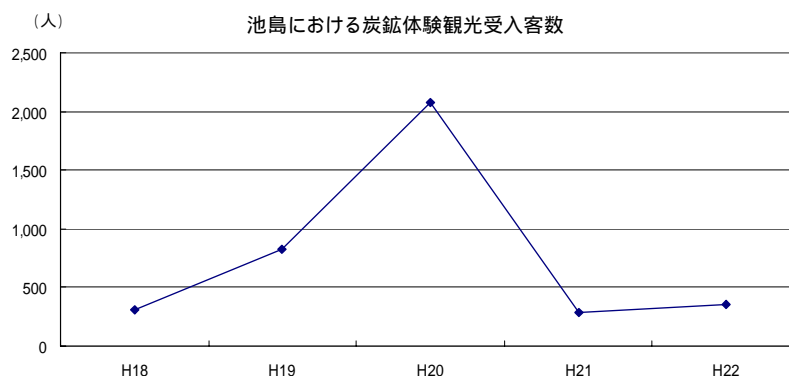
² 産炭地域新産業創造等基金助成事業：(財)長崎県産炭地域振興財団の助成事業。対象地域は長崎市の一部(旧伊王島町、高島町、外海町)及び西海市の一部(旧大島町、崎戸町、大瀬戸町)。p.2の表参照。

(b) 池島（炭鉱体験観光関連）

（単位：千円）

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
19	三井松島 リソース ス(株)	石炭産業体 験学習(旧池 島炭鉱学さ るく)施設整 備事業	池島における石炭産業体 験学習事業を実施するた めの見学用施設の整備等 を行う。	13,798	9,180	H19.8.1～ H20.3.31	観光物産 (ハード)
19		石炭産業体 験学習(旧池 島炭鉱学さ るく)受入事 業	池島における石炭産業体 験学習受入事業の実施	11,728	7,818	H19.8.1～ H20.3.31	観光物産 (ソフト)
20				11,948	7,965	H20.4.22～ H21.3.31	観光物産 (ソフト)
22	長崎市	池島炭鉱施 設活用計画 策定費	池島地区の炭鉱施設群等 地域資源調査、活用計画策 定	8,066	6,000	H22.8.16～ H23.3.25	企画調査支 援
22		池島産業遺 産活用事業	産業遺産観光客受け入れ 拡大のための池島炭鉱施 設の改修整備及び閉山 10 周年記念事業の開催	45,038	36,000	H23.4.1～ H23.11.25	地域振興プ ロジェクト 等支援

- ・平成 13 年 11 月 29 日に池島炭鉱が閉山した後、三井松島リソース(株)では、平成 15 年か
ら修学旅行生等を対象とした施設見学の受け入れを開始した。
- ・平成 19 年度には、産炭基金活性化基金を活用して見学用施設の整備等を実施し、平成 20 年
度の利用者数は年間 2,000 人に達したが、平成 21 年度に海外産炭国からの炭鉱技術者受入研
修（NEDO³委託事業）が終了したことに伴い、安全管理基準が鉱山保安法から消防法に切り
替わったため坑内見学ができなくなり、観光客が減少した。
- ・このような状況の中、長崎市では、平成 23 年度から観光事業の運営を三井松島リソース(株)
の直営から長崎市からの委託に切り替えるとともに、市からの補助（活性化基金を活用した
間接補助）により消防法に基づく安全対策工事、坑内トロッコ人車の再生整備を実施し、坑
内観光を再開した。
- ・また、平成 23 年度は炭鉱閉山から 10 周年に当たることから、活性化基金の活用により、10
月 30、31 日の二日間、「池島炭鉱閉山 10 周年事業『ステップ UP 池島まつり』」として写真
コンテスト・坑内ライブ等のイベントを開催し、1,400 人の参加者を集めた。



(出典)事業主体報告データを基に産炭財団事務局作成

観光トロッコ（池島）



写真提供：長崎市

³ NEDO：独立行政法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（New Energy and Industrial Technology Development Organization）

iii) 大瀬戸地区

(a) 地域間交流施設整備事業

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
22	西海市	地域間交流施設整備事業	太陽光を利用した屋内プール等の整備	164,939	131,951	H22.9.30～ H23.11.17	地域振興プロジェクト等支援

- ・西海市大瀬戸総合運動公園の魅力向上と隣接する夫婦堤親水公園、ふれあい農園との連携活用を推進し、各種スポーツ大会と合宿の誘致、市外からの参加者・利用者の増加による交流人口の拡大、市民の健康増進を図るため、運動公園内に太陽光を利用した省エネタイプの屋内プールを建設し、併せて、運動公園と親水公園、ふれあい農園との連絡道を整備した。
- ・西海市では、プール利用者を 2,000 人/年（うち合宿誘致人数 300 人）、太陽光発電設備の効果による CO₂ 削減効果を 3184 kg/年と見込んでいる。

<p>地域間交流施設整備事業の概要</p> <p>プール：25m プール、子供用プール、更衣室等</p> <p>太陽光発電能力：10kW/日</p> <p>連絡道路：L=160m</p>

(b) 瀬戸港臨港施設整備事業

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
22	西海市	瀬戸港臨港施設整備事業	瀬戸港臨港施設の一体的整備	134,789	107,830	H22.7.9～ H23.11.11	地域振興プロジェクト等支援

- ・瀬戸港港湾沿いの国道 202 号改良工事や瀬戸港フェリー施設改修事業（県事業）と併せ、松島・池島などの離島への交通手段の一部として定期駐車場、臨時駐車場を整備するとともに、市営交通船（松島航路）待合所（瀬戸港待合所）の移転新設及び棧橋までの屋根付通路の整備、民間旅客フェリー（松島・池島航路）待合所（瀬戸港フェリーターミナルビル）の新設を行った。

<p>瀬戸港臨港施設整備事業の概要</p> <p>駐車場 2 箇所 定期駐車場 128 区画、時間駐車場 77 区画</p> <p>瀬戸港待合所 1 箇所 RC 造 1F A=95.58 m²</p> <p>瀬戸港フェリーターミナルビル 1 箇所 RC 造 1F A=133.34 m²</p>

(c) 西海市高度情報化基盤整備事業補助金

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
22	西海市	西海市高度情報化基盤整備事業補助金	光ファイバ未整備地区に高度情報通信基盤を構築するため、民間ケーブル会社を実施するケーブル敷設等に対する市補助	49,100	36,825	H23.2.1～ H23.10.31	その他の特認

- ・光ファイバ未整備地区に高度情報通信基盤を構築し、住民向け、法人向けの FTTH（加入者系光インターネット）サービスが提供できる環境を整備するため、(株)長崎ケーブルメディアへの間接補助により、大串（西海市西彼町）～大瀬戸間に光ファイバを敷設した。

(イ) 大村・東彼地区

i) 大村地区

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	(株)FM おおむら	FM おおむら施設整備事業	コミュニティFM放送局開局のための施設整備	31,905	20,332	H21.11.5 ~ H22.4.5	観光物産(ハード)
21	大村市	山岳観光情報発信及び受入基盤整備事業	山岳観光総合案内看板等の整備	1,951	1,463	H22.1.22 ~ H22.3.31	観光物産(ハード)
22		観光情報発信及び受入基盤整備事業	観光情報の発信力強化のための観光案内所改修及び観光案内板整備	5,021	3,765	H22.12.22 ~ H23.3.25	観光物産(ハード)

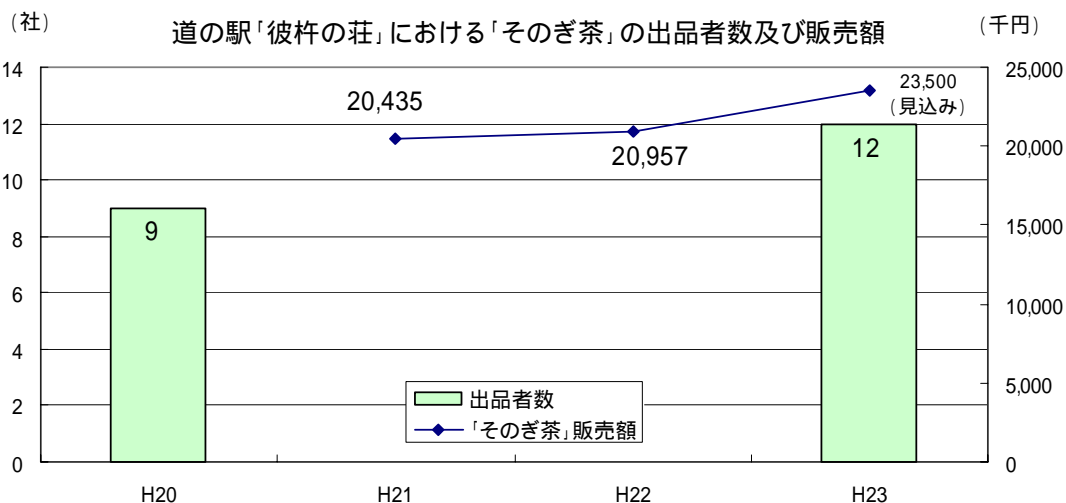
- ・コミュニティFM「FMおおむら」開局のための放送設備、大村市による観光案内板・観光案内所の整備等を支援した。

ii) 東彼杵地区

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	東彼杵町	そのぎ茶啓発看板設置事業	「そのぎ茶」のPR看板、お茶の歴史案内看板等の設置	5,832	4,374	H21.12.15 ~ H22.3.31	観光物産(ハード)

- ・長崎県内産の約7割を占める緑茶の産地である東彼杵町では、同地区がお茶の産地であることを発信し、地域の物産振興、観光振興につなげるため、国道沿い街路灯への「そのぎ茶」PR看板、道の駅「彼杵の荘」(東彼杵町)や日本における煎茶道の開祖とされる隠元禅師ゆかりの興福寺(長崎市)等への歴史案内看板等の設置を行った。
- ・道の駅「彼杵の荘」への「そのぎ茶」出品者数、販売額は増加傾向にある。



(出典)事業主体報告データを基に産炭財団事務局作成

iii) 波佐見地区 (波佐見温泉)

(単位:千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
20	波佐見町	波佐見温泉 泉源掘削事業	既存の温泉旅館等及び再整備する温泉施設に供給するための新たな温泉泉源掘削	79,794	50,000	H20.7.25 ~ H21.3.31	観光物産 (ハード)
21	(株)はさみプロジェクト	(仮)はさみの湯新築整備事業	温泉温浴施設の新築整備	127,534	50,000	H21.9.16 ~ H22.6.26	観光物産 (ハード)
22	波佐見町	1級町道西前寺線道路改良事業	波佐見温泉・波佐見温泉商店街へのアクセス道路拡幅改良	58,212	46,569	H22.10.12 ~ H23.5.11	地域振興プロジェクト等支援

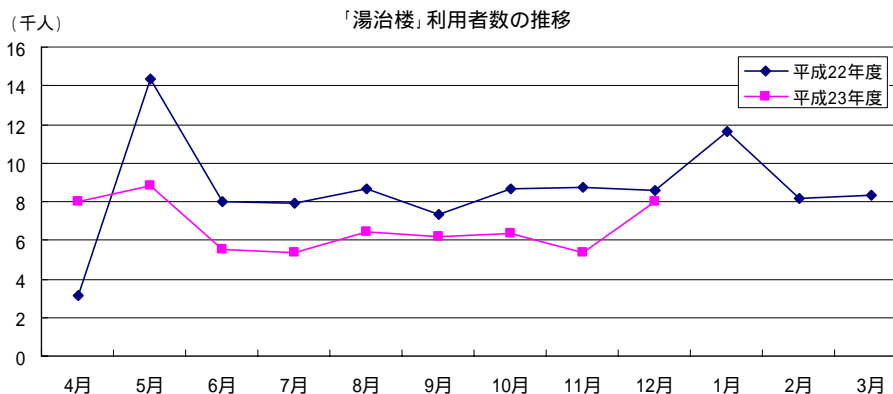
- ・波佐見町長野郷の波佐見温泉は、大正時代から良質な泉質で親しまれ、昭和41年には「波佐見温泉センター」が開設されて多くの湯治客で賑わいを見せていたが、泉量の不足に加え、施設の老朽化、経営難等により、平成18年6月に閉鎖された。
- ・町内有志で設立された(株)はさみプロジェクトにより新温浴施設の整備が計画され、泉源権利を持つ波佐見町が当該施設及び既存温泉旅館等へ温泉供給を行うための新泉源を掘削した。
- ・平成22年4月、「はさみ温泉 湯治楼」として新温浴施設がオープンし、隣接する「陶農レストラン 清旬の郷」(H21.4オープン)とともに、交流人口の拡大に向け、新たなスタートを切っており、周辺商店街の活性化や焼き物・地酒などの波佐見町に内在する地域資源と融合したグリーンクラフトツーリズム事業の拡大に寄与している。
- ・また、今後は、高齢者の健康増進・福祉の増進につながるヘルスツーリズムやエコツーリズムの展開も期待されている。

「はさみ温泉 湯治楼」の概要

オープン：平成22年4月26日

当初雇用者数：13名

初年度利用者数：約10.4万人 (H22.4.26 ~ H23.3.31) (当初目標：9.7万人)



(出典)事業主体報告データを基に産炭財団事務局作成

はさみ温泉 湯治楼



写真：湯治楼 web サイト <http://seisyunnosato.jp/onsen/bath/>

iv) 川棚地区（大崎半島）

（単位：千円）

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	(社)川棚町観光協会	川棚大崎海水浴場観光体験基盤整備事業	修学旅行生向け体験学習メニューを提供するための設備整備（ペーロン用櫂、海上綱引き用いかた等）	4,302	2,866	H21.10.1～ H22.7.31	観光物産（ハード）
21	川棚町	川棚大崎半島多目的交流広場整備事業	多目的人工芝グラウンドの整備	162,973	130,378	H22.3.10～ H23.11.30	地域振興プロジェクト等支援

- ・大崎半島は、国民宿舎くじゃく荘、川棚大崎温泉しおさいの湯、くじゃく園、キャンプ場、大崎海水浴場等が集積する川棚町の観光・レジャー拠点である。
- ・川棚町では、交流人口の拡大と関連地場産業の振興、雇用の維持拡大を図るため、平成 21 年度から 23 年度にかけて、国民宿舎くじゃく荘の隣接地にホッケー、フットサル、グランドゴルフなど多目的に活用できる「川棚大崎自然公園交流広場」の整備を実施した。
- ・当該広場は(社)日本ホッケー協会の公認を受け、平成 26 年の「長崎がんばらんば国体」ホッケー競技の開催が予定されており、川棚町では、平成 23 年秋の完成から平成 26 年の 3 年間で 8 万人、その後は毎年 2 万人の交流人口を見込んでいる。

川棚大崎自然公園交流広場の概要

敷地面積：15,432 m²

（人工芝フィールド 6,839 m²、芝生スタンド 1,190 m²、芝生広場：619 m²）

証明設備：6 本（投光器 36 灯）

バリアフリー：多目的トイレ 1 箇所、スロープ 58m、身障者用駐車場 2 台

利用形態：11 人制ホッケー 1 面、6 人制ホッケー 2 面、フットサル 4 面、サッカー 1 面、グランドゴルフ 3 面 等

総事業費：231,774 千円

川棚大崎自然公園交流広場



写真：産炭財団事務局撮影

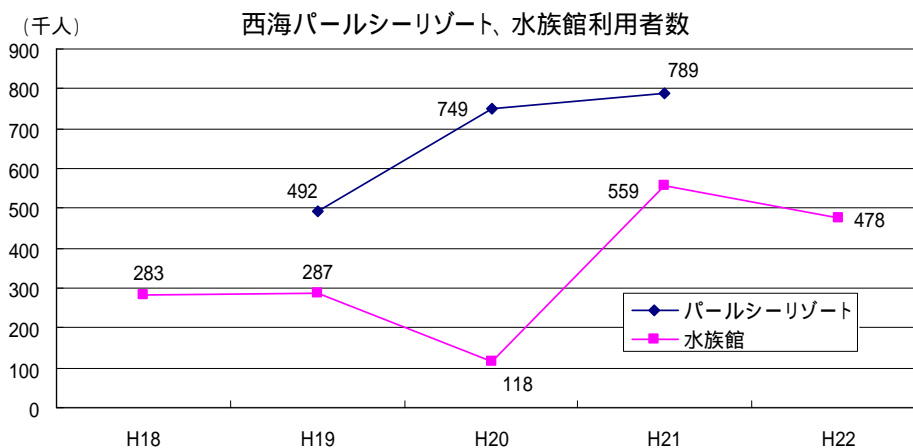
(ウ) 佐世保・北松地区

i) 西海パールシーリゾート

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
19	佐世保市	水族館整備事業	西海パールシーセンターの既存施設を新たに水族館として整備・拡充し、九十九島の情報発信及び佐世保観光の活性化を目指す。	113,798	50,000	H19.4.1～H22.3.31	観光物産(ハード)
20		鹿子前園地駐車場拡張事業	整備中の西海パールシーリゾート内における駐車場の拡張	3,064	2,042	H20.10.1～H21.3.31	観光物産(ハード)
21		九十九島観光玄関口整備事業	西海パールシーリゾートウッドデッキの改修	66,912	50,000	H21.11.12～H22.11.29	観光物産(ハード)
計				183,774	102,042		

- ・西海パールシーリゾート全体の観光客数は、九十九島水族館「海きらら」の整備・拡充（H21.7.18 オープン）ウッドデッキの改修を実施したこと等により、平成 20 年の 49 万人から平成 22 年には 79 万人に増加した。
- ・また、水族館の入館者数については、整備前（パールシーセンター）の 30 万人弱が、「海きらら」整備後には 50 万人前後に増加している。



(出典)長崎県観光統計(パールシーリゾート)、世保市報告数値(水族館)を基に産炭財団事務局作成
 パールシーリゾートは暦年、水族館は年度の数値
 水族館は、整備工事のため H20.9.1～H21.7.17 休館(H20 は 5 か月間の入館者数)

九十九島水族館「海きらら」



写真：西海パールシーリゾート web サイト

http://www.pearlsea.jp/umikirara/pakupaku_a.html

ii) 九十九島動植物園

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
20	佐世保市	自然観察の森ゾーン整備事業	ツシマヤマネコの保護・繁殖を行う施設の整備	4,240	2,826	H20.5.1～H21.3.31	観光物産(ハード)
21			石岳動植物園におけるツシマヤマネコ保護・繁殖施設の整備	45,274	33,885	H21.4.1～H22.3.31	観光物産(ハード)
21		日本の森ゾーン整備事業	石岳動植物園におけるツシマヤマネコ展示施設の実施設設計	2,917	2,187	H21.6.1～H22.3.31	観光物産(ハード)
21		ふれあいゾーン整備事業	石岳動植物園における動物とのふれあい体験施設の拡充整備	8,612	4,125	H21.4.1～H22.3.31	観光物産(ハード)
22		動植物園活性化事業	亜熱帯動植物園魅力向上のための整備	161,108	104,010	H22.6.8～H23.8.31	地域振興プロジェクト等支援
計				222,151	147,033		

- ・九十九島動植物園(森きらら)にツシマヤマネコの保護・繁殖・展示施設や動物とのふれあい体験施設、モンキーゾーン施設、駐車場整備等を整備したことにより、ツシマヤマネコの認知度、知名度の向上、入園者数の増加が図られた。

< ツシマヤマネコ保護状況 >

H22.3.30	対馬野生生物保護センターよりオス2頭搬入
H22.5.19	福岡市動物園よりメス2頭搬入
H22.10.13	福岡市動物園よりメス1頭搬入
H23.10.17	名古屋市東山動物園へメス1頭搬出
H23.10.27	福岡市動物園よりオス1頭搬入
H23.11.11	対馬野生生物保護センターよりオス1頭、メス1頭搬入
(現在保護頭数)	オス4頭　メス3頭　合計7頭

< ツシマヤマネコ啓発事業実績 >

H22.3.28	シンポジウム「絶滅が危惧される『ツシマヤマネコの保護・繁殖と共生』」
H22.7.15～8.15	ツシマヤマネコ展
H23.2.19～2.27	ツシマヤマネコ展
H23.11.5～11.27	長崎県の希少動植物展

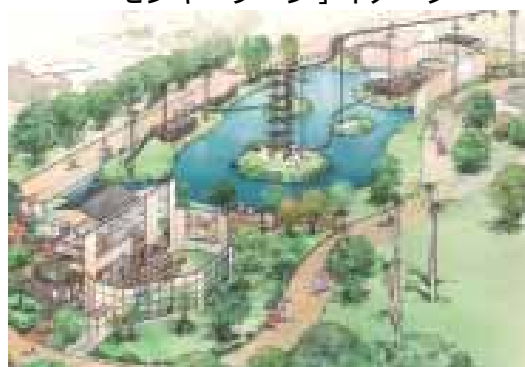
< 九十九島動植物園(森きらら)入園者推移 >

平成21年度	187,940人
平成22年度 ¹	165,881人
平成23年度	200,000人(見込み)

- 1 平成22年度は口蹄疫の影響で、動物のエサやりやふれあい体験等のソフト事業を自粛したため減少をしているが、平成23年度は12月末時点で前年度の22%増となっており、15年ぶりとなる20万人が見込まれる。

〔参考 H22.12末時点：138,543人
H23.12末時点：169,606人〕

「モンキーゾーン」イメージ



イラスト：「広報させば」2011年4月号 vol.725

iii) 世知原地区 (世知原温泉「山暖簾」)

(単位:千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
19	世知原温泉(株)	世知原温泉宿泊施設「山暖簾」の新温泉掘削に伴う地質調査事業	新たな源泉を掘削するための地質調査を行う。	6,580	4,386	H19.7.27～ H19.8.31	企画調査支援
19	佐世保市	世知原温泉宿泊施設「山暖簾」の新源泉掘削事業	佐世保市北部の観光拠点である世知原温泉宿泊施設「山暖簾」の湯量を確保するため、源泉調査を踏まえ、新たな温泉を掘削する。	65,046	43,363	H19.11.1～ H20.7.31	観光物産(ハード)
20		世知原温泉宿泊施設「山暖簾」周辺設備整備事業	平成19年度に掘削した源泉からの供給ポンプ設備、配管・ボイラー等の周辺設備整備	50,021	6,637	H20.5.19～ H21.3.31	観光物産(ハード)

- ・公共の宿「山暖簾」(設置者:佐世保市、指定管理者:世知原温泉(株)、H16.4オープン)は、佐世保市北部の重要な観光拠点であるが、湯湯設備の不具合により、平成18年3月から源泉の湯量が従来の1/6程度に減少したことから、新たな泉源の調査、掘削、周辺設備の整備を実施した。

<p>「山暖簾」利用者数の推移 オープン:平成16年4月。 利用者数の推移</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>H19</th> <th>H20</th> <th>H21</th> <th>H22</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用者数(人)</td> <td>126,723</td> <td>114,378</td> <td>141,294</td> <td>132,469</td> </tr> </tbody> </table> <p>(出典)事業主体報告データを基に産炭財団事務局作成 H20は、周辺設備整備事業のため、H21.2に21日間休館</p>					年度	H19	H20	H21	H22	利用者数(人)	126,723	114,378	141,294	132,469
年度	H19	H20	H21	H22										
利用者数(人)	126,723	114,378	141,294	132,469										

iv) 佐々地区

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
22	佐々町	学童農園施設整備事業	体験型観光拡大に向けた農業体験施設の改修整備	87,112	50,000	H23.1.14～ H23.11.15	観光物産(ハード)

- ・佐々町では、宿泊体験型の教育施設である「学童農園」(昭和61年開設)を従来の学童のみでなく、農業に関心を持つ一般の人にも開放し、町内外及び福岡都市圏住民をも対象とした農業体験型観光(グリーンツーリズム)を通して、「スローライフ」をキーワードに広域的な交流人口の拡大による地域振興につなげるため、研修室の機能強化等、施設の改修整備を実施した。
- ・平成23年9月の西九州自動車道佐々インターチェンジ供用開始により広域的なアクセスも向上しており、「そば打ち体験教室」「椎茸原木菌打ち体験教室」等の体験イベントや、長崎短期大学との連携による「食育」をテーマとした研修会等の実施、「貸し農園」事業の推進等により、地域の情報発信と交流人口の拡大に資することが期待されている。

<p>佐々町学童農園施設概要</p> <p>面積:50,000 m²</p> <p>研修棟:宿泊室(60名収容)、研修室、実習室、調理室、食堂、浴室</p> <p>農園:野菜園、果樹園、体験農園</p> <p>農舎等:農舎、展示温室、グリーンハウス</p> <p>キャンプ場:テント25張(8人収容)、野外炊事場、炊事用具200名分貸出可</p> <p>グラウンド:遊具(ソフトボール、サッカー、グランドゴルフ)</p> <p>駐車場:50台</p>
--

(工) 平戸・松浦地区

i) 平戸地区 (田平港シーサイドエリア)

(単位:千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	平戸市	田平港シーサイドエリア再生基本計画調査事業	田平港後背地及び周辺施設の有効活用のための計画策定	3,360	2,520	H22.1.14 ~ H22.3.31	企画調査支援
22	平戸市	田平港シーサイドエリア活性化事業	交通・物流・観光の拠点となる総合施設の整備	794,654	635,723	H22.4.16 ~ H23.11.30	地域振興プロジェクト等支援

- ・平戸市では、観光と物流の拠点施設を整備することで物産の振興と交流人口の増加による地域活性化を図るため、平戸の玄関口である田平港シーサイドエリアにおいて、観光・物産情報発信の拠点となる活性化施設「平戸瀬戸市場」と水産業の拠点となる魚市場の荷捌施設とを併せて整備する「田平港シーサイドエリア活性化事業」を実施した。
- ・「平戸瀬戸市場」は、直売所、レストラン、観光インフォメーションコーナーなどを併設した地域活性化のための中核となる複合型の集客施設であり、観光・物産情報の発信や市外への物産流通・販売と地産地消の促進が期待されている。

田平港シーサイドエリア活性化事業の概要

(1) 活性化施設 (平戸瀬戸市場)

平成 24 年 2 月 25 日オープン

構造: 鉄筋コンクリート造 2 階建 (約 1,200 m²)

機能: 直売所、レストラン、観光インフォメーション、展望デッキ等

- ・ 指定管理者 田平町シーサイドエリア活性化施設利用組合
- ・ 新規雇用 (予定) 42 名
- ・ 年間交流人口目標 36 万人
- ・ 年間売上目標 268,200 千円

(2) 荷捌施設

平成 23 年 12 月 6 日供用開始

構造: 鉄骨造平屋建 (約 2,200 m²)

機能: せり場、活魚ストック、仲買立替場、作業場

- ・ 指定管理者 北松魚市(株)

活性化施設「平戸瀬戸市場」



写真: 平戸市 web サイト

http://www.city.hirado.nagasaki.jp/city/info/prev.asp?fol_id=17204

ii) まつうら党交流公社を中心とした体験観光関連

(単位：千円)

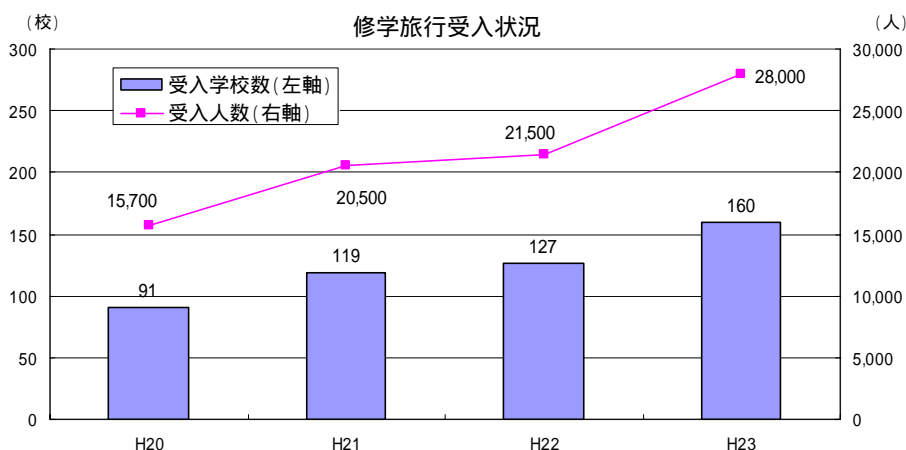
年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
20	松浦市	松浦体験型旅行事業支援事業	体験プログラムの開発・環境整備、インストラクター養成等を行う松浦体験型旅行事業に対する支援	6,000	4,000	H20.4.28～H21.3.31	観光物産(ソフト)
21		体験型観光受入環境整備事業	体験型観光受入のための施設整備	27,030	20,272	H21.4.22～H23.3.31	観光物産(ハード)
21	一般社団法人 まつうら党交流公社	農林漁業体験民宿施設整備事業	民泊施設のトイレ、浴室、洗面所、調理場等の改修	28,244	18,788	H22.1.22～H22.4.30	観光物産(ハード)
22		農林漁業体験民宿施設整備事業	民泊施設のトイレ、浴室、洗面所、調理場等の改修	12,294	8,196	H22.9.1～H23.4.29	観光物産(ハード)
22		農林漁業体験民宿施設整備事業(第2次)	民泊施設のトイレ、浴室、洗面所、調理場等の改修	13,309	8,872	H23.1.14～H23.9.30	観光物産(ハード)

- ・松浦市を中心とする北松浦半島地域では、関東、関西などの都市圏の修学旅行生を主に民泊及び体験受入を行っており、平成21年4月には既存3団体を統合して「一般社団法人 まつうら党交流公社」を設立し、官民一体となって体験型旅行事業の推進、交流人口拡大に向けた取り組みを進めている。
- ・平成20年度から23年度にかけて、プログラム開発・人材育成、環境整備(体験現地におけるトイレ、安全施設等の整備)民泊施設の改修等に取り組んだ結果、修学旅行の受入は平成20年度の91校、15,700人から平成23年度には160校、28,000人に増加し、平成23年度の経済効果(直接)は323,000千円に上るなど、農業や漁業を生業とする地域住民の新しい産業として地域活性化に寄与している。

活性化基金を活用した民泊施設の整備状況

(単位：戸)

市町(地区)	H21	H22 一次	H22 二次	計
平戸市 田平町	10	3	7	20
松浦市	19	9	10	38
佐世保市 鹿町町	-	5	1	6
小佐々町	-	1	-	1
計	29	18	18	65



(出典)事業主体報告データを基に産炭財団事務局作成

体験型修学旅行 10年で30倍...長崎・松浦

松浦市などで体験型修学旅行を企画している一般社団法人「まつうら党交流公社」が設立から10年を迎えた。農漁業体験や、民家での宿泊を通じた住民とのふれ合いが都市部の中高生に人気で、2012年度の受け入れは設立当初の30倍の約3万人になる見込みだ。(河津佑哉)

少子高齢化が進む中、交流人口の拡大で地域の活性化を図ろうと、地元商工会議所のメンバーら約80人が02年1月、前身の「松浦体験型旅行協議会」を設立。03年秋から修学旅行の受け入れを始めた。

同市の離島・青島を中心に、漁師宅などに泊まり、漁や郷土料理作りを体験してもらう1~2泊のプランを企画。初年度は、イラク戦争の勃発や新型肺炎(SARS)の流行で、旅行先を海外から国内に変更する学校が相次いだこともあり、7校の約1000人が訪れた。

「初対面の人と人間関係を築けて自信になった」「第二の古里ができた」などと修学旅行生の反応も上々で、市から職員の派遣や補助金を受けるなど官民の連携を強化。安全・衛生面の管理を徹底したことも学校側の信頼感につながり、年々リピーターが増えていったという。

プランは84種に上り、民泊の受け入れ態勢も松浦、佐世保、平戸3市の約500戸、約800~1000人に拡充。11年度は関東や関西から約160校の2万8500人を迎えた。

受け入れる住民側の満足度も高い。退職した60~70歳代が中心だが、1泊につき4000~5000円の収入になるうえ、「孫が帰ってきたようで楽しい」と、生きがいに感じている人も多いという。

これまで訪れた修学旅行生は11万人を超え、地元への経済効果は11年度で3億3000万円と試算されている。

同法人の筒井雅浩・統括マネジャー(57)は、高齢化するインストラクターの担い手育成や、修学旅行シーズン以外の一般旅行客の開拓を課題に挙げたうえで、「将来は農漁業の後継者や定住者を増やしたい」と話している。

(2012年2月16日 読売新聞)

iii) 松浦市福島地区（つばき荘）

（単位：千円）

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
20	松浦市	国民宿舎つばき荘改築基本計画及び基本設計業務委託事業	国民宿舎つばき荘の施設改装による機能強化	10,020	6,122	H20.12.17～H21.5.27	企画調査支援
22	松浦市	国民宿舎つばき荘施設整備事業	国民宿舎つばき荘の建て替え整備	428,299	322,008	H22.4.20～H23.3.31	地域振興プロジェクト等支援

- ・国民宿舎つばき荘は、昭和44年7月、松浦市福島地区の入口付近の玄海国定公園地域内に整備され、土谷棚田をはじめとする福島観光の際の宿泊拠点として、また、地域住民のコミュニティ活動の拠点として利用者に親しまれ、地域における重要な雇用確保の場としても重要な役割を果たしてきた。
- ・昭和55年7月に大規模改修を行ったものの、築40年を経過して老朽化が進み、建設が古くバリアフリーに対応していないことなどもあって全面建て替えの必要が生じ、旧「国民宿舎つばき荘」は平成21年3月に閉館となった。
- ・松浦市では、同国民宿舎を建て替え整備し、平成23年6月、「福島温泉 ほの香の宿 つばき荘」としてリニューアルオープンした。
- ・オープン後半年での利用実績は、宿泊者数615人/月、日帰り入浴者数約750人/月、レストラン利用者数2,300人/月となっており、地域における中核的な宿泊施設として交流人口の拡大に寄与することが期待されている。

つばき荘の概要

名称：松浦市福島町観光宿泊施設「福島温泉 ほの香の宿 つばき荘」

オープン：平成23年6月30日

敷地面積：5,975.14 m²

建物構造：鉄筋コンクリート造一部鉄骨造3階建て

延床面積：2,488.90 m²

設置主体：松浦市

運営主体：(株)つばき荘（指定管理）

福島温泉 ほの香の宿 つばき荘



写真：つばき荘 web サイト <http://www.tubakisou.jp/facilities/>

イ. 文化財保存・整備関係

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
20	(宗)お告げのマリア修道会	国指定重要文化財旧出津救助院保存整備事業費	世界遺産登録実現に向けての中心的施設である旧出津救助院及びド・口神父遺跡を整備し、展示資料や体験学習などに活用	25,081	16,720	H20.4.1～H21.3.31	観光物産(ハード)
21		県指定史跡ド・口神父遺跡保存整備事業費		32,377	21,583	H21.4.1～H22.3.31	観光物産(ハード)
22		世界遺産登録推進事業(黒島天主堂保存修理事業)		32,781	11,697	H22.4.1～H23.3.31	観光物産(ハード)
21	佐世保市	世知原炭鉱資料館保存整備・世知原炭鉱資料館展示坑整備事業	旧松浦炭鉱事務所及び閉鎖中の展示坑の改修整備	6,115	4,585	H21.6.1～H22.3.31	観光物産(ハード)
22		世界遺産登録推進事業(黒島天主堂保存修理事業)		1,791	1,343	H22.4.16～H23.3.31	観光物産(ハード)
22		福井洞窟整備・発掘事業	国指定史跡の整備・発掘	1,867	1,493	H22.4.15～H23.3.31	観光物産(ハード)
22		福井洞窟整備・発掘事業	国指定史跡の整備・発掘	3,849	2,886	H22.4.16～H23.3.31	企画調査支援
22	長崎市	県指定有形文化財伊王島灯台旧吏員退息所保存整備事業費	県指定有形文化財の保存修理	6,805	4,794	H22.8.6～H23.3.11	観光物産(ハード)
22		グラバー別邸跡整備事業	グラバー別邸跡の発掘調査及び説明板設置	1,365	1,023	H23.5.30～H23.10.31	企画調査支援
22	梅ヶ枝酒造(株)	梅ヶ枝酒造観光客誘致事業	旧仕込み倉(国登録有形文化財)の改修、見学コース・駐車場等整備	44,657	21,180	H22.4.16～H23.9.30	観光物産(ハード)

- ・文化財の保存・整備を推進し、地域の情報発信や交流人口拡大等を図るため、「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の世界遺産登録に向けた旧出津救助院(国指定重要文化財)及びド・口神父遺跡(県指定史跡)の保存整備事業をはじめとする上記の事業に対して支援を行った。

ウ. 観光イベント・プロモーション事業

(単位:千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
20	長崎市	第14回全国棚田サミット開催費負担金事業	「全国棚田(千枚田)サミット」の開催	5,000	3,333	H20.5.12~H21.3.31	観光物産(ソフト)
22		グリーンツーリズム推進事業費	外海、高島の農山漁村におけるグリーンツーリズムの推進	2,844	2,133	H22.4.16~H23.3.31	観光物産(ソフト)
22		地域活性化事業費負担金	南部5地区の地域間連携、交流人口拡大のためのイベントの開催	7,940	5,955	H22.5.14~H22.10.15	観光物産(ソフト)
22		「UMIBOUZIN高島」開催費	イベント開催、情報発信	2,066	1,549	H22.5.7~H22.9.13	観光物産(ソフト)
22		池島釣大会共催費負担金	"ステップUP池島"釣り大会への市共催費	1,400	1,050	H22.4.1~H22.11.10	観光物産(ソフト)
22		池島釣大会共催費負担金(第2次)		1,400	1,050	H23.4.1~H23.10.11	観光物産(ソフト)
21	長崎巡礼協議会	外海の地域文化発信計画策定事業	各種イベントやさるくコースを検討し、試験的に実施	8,234	4,590	H21.6.2~H22.3.31	企画調査支援
21		外海のキリスト教史整備発信事業	外海のキリスト教史に関する資料・映像等の収集整備及び情報発信	8,365	5,410	H21.6.2~H22.3.31	観光物産(ソフト)
22		外海のキリスト教史映像発信事業	外海のキリスト教の歴史に関するドキュメンタリー資料作成	9,118	5,784	H22.6.7~H23.3.31	観光物産(ソフト)
21		韓国への巡礼情報発信事業	韓国からの巡礼の増加に向けたガイドブック作成、メディアでの情報発信等	11,510	7,600	H21.6.8~H21.12.25	観光物産(ソフト)
22			韓国からの巡礼の増加に向けた巡礼コースの開発、情報発信	7,098	4,732	H22.8.16~H23.3.31	観光物産(ソフト)
21		黒島のキリスト教史整備発信事業	黒島のキリスト教史に関する資料、映像等の収集整備	3,125	2,047	H21.6.8~H21.12.25	観光物産(ソフト)
22	黒島のキリスト教史に関する調査、情報発信		7,113	4,741	H22.6.7~H23.3.31	観光物産(ソフト)	
22	出津黒崎文化まつり実行委員会	外海の地域文化発信事業	イベント企画・さるくコース開発、ガイド養成	4,202	2,801	H22.9.1~H23.2.10	観光物産(ソフト)
22		外海の地域文化発信事業	地域の歴史や文化にまつわるイベントの企画運営	3,716	2,477	H23.4.1~H23.11.30	観光物産(ソフト)
22	伊王島大橋開通記念ウォーキング大会実行委員会	伊王島大橋開通記念ウォーキング大会	伊王島大橋開通記念ウォーキング大会の開催	7,549	4,766	H22.11.20~H23.3.31	観光物産(ソフト)
21	NBC長崎放送(株)	高島・端島・池島の映像発信による地域活性化事業	実写及びCG映像による情報発信	3,091	2,060	H22.1.22~H22.11.30	観光物産(ソフト)
22			11,500	7,666	H22.12.8~H23.6.30	観光物産(ソフト)	
22	長崎近代化遺産研究会	炭鉱等の歴史遺産再発見事業	ガイドブック、シンポジウム、中学高校出張講座等による近代化遺産の保存活用に向けた普及啓発	3,612	2,408	H23.1.14~H23.10.31	観光物産(ソフト)
19	秋のヨーロッパ収穫祭実行委員会	第1回秋のヨーロッパ収穫祭 in Sasebo	10月~11月にかけて佐世保市の新しい祭りを創り出し、秋から新年にかけて佐世保のイベントを連続させ観光客の増加を図る。	6,028	4,018	H19.10.30~H19.11.30	観光物産(ソフト)
19	ハウステンボス(株)	花の街事業	佐世保市を中心としたエリアのフラワーツーリズムの需要を拡大させることにより、観光客数の増加を目指す。	10,950	7,299	H19.7.31~H20.3.31	観光物産(ソフト)
19		周辺観光素材開発・販売促進事業	ハウステンボス周辺の観光素材を地元大学に依頼し素材の掘り起こしやモデルコースの共同開発を行う。	5,068	3,378	H19.7.31~H20.3.31	観光物産(ソフト)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	県北・県央 エコツー リズム協 議会	長崎県 北・県央エ コツーリ ズム等 事業	船を活用した大村湾沿岸 の観光資源化の検討	2,298	1,529	H21.9.20～ H22.3.29	企画調査支 援
22				4,723	3,148	H22.9.1～ H23.3.31	企画調査支 援
19	佐世保地 域観光活 性化推進 会議	全国情報発 信事業	全国エリアへ向けた佐世 保・県北地域の情報発信、 誘客推進	15,000	10,000	H19.8.1～ H20.3.31	観光物産 (ソフト)
20				14,990	9,993	H20.9.2～ H21.3.31	観光物産 (ソフト)
19		東アジア誘 客事業	観光発展著しい東アジア からの佐世保・県北地域へ の誘客推進	15,000	10,000	H19.8.1～ H20.3.31	観光物産 (ソフト)
20				14,972	9,981	H20.8.28～ H21.3.31	観光物産 (ソフト)
21		環境と自然 を軸とした 中国誘客事 業	「次世代エネルギーパー ク」「九十九島」など環境 をテーマとした中国から の誘客促進	15,001	10,000	H21.8.27～ H22.3.31	観光物産 (ソフト)
22				12,027	8,000	H22.5.6～ H23.3.31	観光物産 (ソフト)
20	佐世保・ハ ウステン ボス連携 事業推進 会議	アジア客歓 迎・交流事業 「ウェルカ ムSASEBO」	佐世保市を中心とした観 光事業者・住民が一体とな り、アジアからの誘客受入 体制づくりをバックアップ ・ふれあい事業（受入研 修、交流事業） ・演出事業（環境演出、 記念イベント） ・製作物事業（特典・ツ ール製作）	9,533	6,355	H20.10.1～ H21.2.28	観光物産 (ソフト)
21		大河ドラマ 「龍馬伝」PR イベント事 業	「龍馬伝」と連携した県北 地域の観光情報発信	15,001	9,987	H21.10.30～ H22.3.31	観光物産 (ソフト)
22				15,045	10,000	H22.4.1～ H23.3.31	観光物産 (ソフト)
22	させぼ WoodsSto ck音楽祭 実行委員 会	させぼ WoodsStock 音楽祭	えぼし岳高原スポーツの 里、アルカス SASEBO に おける音楽イベントの開 催	2,637	1,758	H22.4.15～ H22.11.30	観光物産 (ソフト)
19	大村市	天正少年夢 まつり開催 事業	「大村純忠」と「天正遣欧 少年使節」を観光のシンボ ルとした魅力ある観光立 市を目指し、「天正少年夢 まつり」を実施	7,500	5,000	H19.4.1～ H20.3.31	観光物産 (ソフト)
20				6,000	4,000	H20.6.30～ H21.3.31	観光物産 (ソフト)
22		おおむらの 魅力再発見 事業	「わが町の魅力」募集・評 価、ブラッシュアップ計画 の策定	2,616	1,961	H22.4.20～ H23.3.31	企画調査支 援
22		おおむらの 魅力再発見 事業(第2次)	ホームページ、モニターツ アー、物産展等による観光 物産情報の発信	6,000	4,500	H23.4.1～ H23.11.30	観光物産 (ソフト)
21	(株)テレビ 長崎	大村の長崎 街道活性化 計画策定事 業	大村と東彼杵の観光・物産 資源の調査、試験的イベン ト等の実施	8,527	5,684	H21.9.3～ H22.2.2	企画調査支 援
22	長崎街道 振興協 議会	大村の長崎 街道活性化 事業	大村の長崎街道活性化の ためのシンポジウム、イベ ントの開催	5,405	3,603	H22.5.6～ H23.3.31	観光物産 (ソフト)
22	平戸口観 光振興推 進協 議会	平戸市田平 町の観光振 興による地 域活性化・誘 客推進PR事 業	地域資源情報の収集整理、 体験プログラム開発・モニ ターツアー、ネット・紙媒 体によるPR等	4,353	2,901	H22.11.11～ H23.3.31	観光物産 (ソフト)
19	松浦市	松浦水軍ま つり支援事 業	市民総参加の祭りとして 市民と行政が一体となっ て続けている「松浦水軍ま つり」に対する支援	5,850	3,900	H19.10.27～ H19.10.28	観光物産 (ソフト)
20				5,265	3,510	H20.9.12～ H20.12.15	観光物産 (ソフト)
19	西海市	西海トライ アスロン in 大島	市民あがてのイベントで ある「西海トライアスロン in 大島」の開催に対して助 成する。	2,487	1,657	H19.4.1～ H20.3.31	観光物産 (ソフト)
19		西海市ふる さとまつり	市内外に西海市の情報発 信を行うことを目的とし た総合的なイベントの開 催に対して助成する。	4,866	3,243	H19.4.1～ H20.3.31	観光物産 (ソフト)
20		世界遺産登 録関連基礎 調査事業	「初期キリスト教繁栄の 地・西海」をコンセプトに したイベントの実施と情 報発信	3,412	2,274	H20.9.16～ H21.3.30	観光物産 (ソフト)
21				2,646	2,116	H21.10.19～ H22.6.30	観光物産 (ソフト)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
20	西海・佐世保市2市を観光活性化ネットワーク実行委員会	西海市・佐世保市2市を中心としたニューツーリズム受地開発と情報発信事業	西海市・佐世保市・ハウステンボスとの広域周遊観光ルートの開発 総務省・文部科学省・農林水産省の3省連携プロジェクトの新教育旅行の受地開発 環境対策の旅行開発を含むニューツーリズム受地づくり 上記による商品開発と具体的誘客展開のための情報発信	8,524	5,543	H20.10.1～ H21.6.30	観光物産 (ソフト)
20	川棚町	食のまちづくり活性化事業	「食」をテーマとしたイベントの開催	2,275	1,430	H20.10.1～ H21.3.31	観光物産 (ソフト)
21				1,963	1,472	H21.10.1～ H22.3.31	観光物産 (ソフト)

- ・モデルコースや体験メニューの開発、全国・海外へ向けた観光情報の情報発信を実施するなどの観光プロモーション事業や各種観光イベント等への支援を行った。

物産関連

ア. 物産振興施設整備等

(農林業関連)

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	させぼ地区第1～8省力化機械利用組合	させぼブランド「西海みかん」栽培管理サポート組織育成事業	担い手農家への作業委託推進による産地の維持拡大のための農業用機械導入	257,274	169,960	H22.3.19～ H23.11.9	観光物産 (ハード)
21	ながさき西海農業協同組合	させぼブランド「西海みかん」育成事業	「西海みかん」選果所のライン改修 (パッケージ小型化への対応)	54,200	36,133	H21.9.16～ H21.11.12	観光物産 (ハード)
22	ながさき西海農業協同組合	させぼブランド「西海みかん」情報発信拠点施設整備事業	園地、選果、気象等のデータを一元的に管理し、リアルタイムで生産者へ情報を提供する気象・園地関連システムの導入	16,900	11,266	H23.4.8～ H23.10.15	観光物産 (ハード)
21	長崎西彼農業協同組合	柑橘新需要開拓事業	柑橘果実における長期保存技術の開発(氷温貯蔵施設導入)	5,281	3,504	H22.3.16～ H22.9.21	次世代産業育成
21	長崎西彼農業協同組合	オリジナルブランド「味ロマン」育成事業	安定品質確保によるブランド力向上のための高性能みかん選果機導入	208,538	50,000	H22.3.16～ H22.9.21	観光物産 (ハード)
22	西海地区省力化機械利用組合	新規参入促進事業	作業委託推進により新規就農希望者とのマッチングを図り、農地遊休化の回避と新たな担い手の誘致・育成を図るための農業用機械導入	7,956	5,275	H23.2.14～ H23.3.28	観光物産 (ハード)
22	長崎県果樹苗木生産組合	優良果樹苗木生産供給ならびにみかんブランド生産事業	農業用機械導入及びみかん・びわパンフレット作成	5,179	3,110	H22.9.13～ H22.11.30	観光物産 (ハード)
22	大村地区省力化機械利用組合	大村ブランド「はなまるみかん」栽培管理組織育成事業	担い手農家への作業委託を推進し、園地集約の加速、産地の維持拡大を図るための農業用機械導入	13,096	8,730	H23.1.14～ H23.3.22	観光物産 (ハード)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
22	長崎県中央農業協同組合みかん部会	県央オリジナルブランド「はなまる物語」消費拡大促進事業	シートマルチ栽培の拡大による高品質みかんの生産、量販店における試食販売	23,624	15,749	H22.10.20～ H23.7.31	観光物産（ハード）
21	木浦原製茶組合	世知原茶ブランド育成事業	「世知原茶」品質向上のための荒茶製造機械増設	3,036	2,023	H22.1.13～ H22.3.26	観光物産（ハード）
21	黒石製茶組合	世知原茶ブランド育成事業	「世知原茶」品質向上のための荒茶製造機械増設	7,119	4,745	H22.1.13～ H22.3.26	観光物産（ハード）
21	ながさき西海農業協同組合	世知原茶ブランド育成事業	「世知原茶」品質向上のための荒茶製造機械増設	8,450	5,633	H22.1.13～ H22.3.26	観光物産（ハード）
22	ながさき西海農業協同組合	世知原茶育成強化事業	「世知原茶」品質向上のための荒茶・仕上げ茶加工機械導入	29,000	19,333	H23.3.2～ H23.4.10	観光物産（ハード）
22	遠見岳防霜組合	世知原茶ブランド育成事業	高品質茶葉生産のための防霜ファンの整備	4,463	2,975	H23.1.18～ H23.3.25	観光物産（ハード）
22	長崎西彼農業協同組合	特産物販路拡大事業	ゆでぼし大根低温凍凍貯蔵庫・自動梱包機・シール機整備、販促宣伝等	29,304	19,535	H22.9.10～ H23.3.31	観光物産（ハード）
22	長崎市	高島トマト生産施設改修整備事業	地域雇用の場、魅力的な「食」と「交流」の資源である高島トマト生産施設の改修整備	10,185	7,638	H23.7.13～ H23.9.21	観光物産（ハード）
22	(有)ワイルドブランドツ吉村	ジャンボニンニク産地育成事業	ジャンボニンニク産地化のための乾燥調整施設整備	18,000	12,000	H23.3.10～ H23.6.10	観光物産（ハード）
22	ながさき西海農業協同組合	キャトルステーション用地取得・造成・施設建築及び付帯機器導入事業	キャトルステーション（子牛共同育成施設）の整備	66,738	44,491	H22.7.10～ H23.11.20	観光物産（ハード）
22	松浦市森林組合	利用間伐材供給力強化事業	森林整備推進と木材生産コスト縮減による県産材安定供給のための高性能林業機械の導入	28,690	19,126	H23.6.29～ H23.9.13	観光物産（ハード）

【西海みかん年次別出荷実績】

省力化機械の導入により生じた労働力で生産対策の徹底が図られ、ブランドの定着により安定した販売がなされた。

年次	出荷量	販売金額	ブランド率	備考
平成21年	9,778 t	2,020,580 千円	71.6%	作柄：表年
平成22年	7,183 t	2,044,556 千円	71.5%	作柄：裏年
平成23年	7,720 t	2,182,912 千円	74.6%	作柄：裏年

受益面積（受託地含）での出荷数量及びブランド率の算出が困難な為、選果所全体の出荷実績による。

(水産業関連)

(単位:千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
22	九十九島漁業協同組合	水産物消費・販路拡大事業	イリコ粉末を活用した製品開発のためのイリコ粉碎機等の整備	8,200	5,466	H23.2.28～ H23.4.21	観光物産 (ハード)
22	松浦市	松浦魚市場環境整備事業	選別、荷捌きの効率化のための照明設備等改修	44,933	29,228	H22.10.26～ H23.3.31	観光物産 (ハード)
22		松浦魚市場クリーンボックス保管倉庫整備事業	衛生管理の徹底によりブランド力の向上を図るためのクリーンボックス乾燥・保管倉庫の整備	90,504	20,772	H23.5.10～ H23.11.30	観光物産 (ハード)
22	新松浦漁業協同組合	福島クルマエビ養殖場環境整備事業	クルマエビの品質向上、生産拡大を図るための養殖場の環境改善	47,441	31,627	H23.5.24～ H23.10.28	観光物産 (ハード)
21	西海市 (p.37 参照)	漁船取得リース事業	新規漁業就業者へリースするための漁船購入に対する助成	4,772	3,817	H21.9.4～ H22.3.31	その他の特認
22		平成22年度漁船取得リース事業	新規漁業就業者へリースするための漁船購入に対する助成	9,885	7,907	H22.10.28～ H23.3.17	その他の特認

(直売所・加工所関連)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	長崎市 (p.15 参照)	道の駅夕陽が丘そとめ施設整備事業	直売所、レストラン等の拡張整備のための実施設計、土質調査	3,601	2,700	H21.8.20～ H21.10.21	観光物産 (ハード)
22			道の駅(直売所、レストラン等)の拡張整備	60,306	44,501	H22.6.4～ H23.3.31	観光物産 (ハード)
21	ながさき西海農業協同組合	佐世保のこだわりみかん「西海みかん」直売事業	「西海みかん」直売所の建設	37,046	23,986	H21.10.9～ H22.12.30	観光物産 (ハード)
21			みかん直売所駐車場整備	33,400	18,437	H22.3.10～ H23.2.28	観光物産 (ハード)
22			長崎和牛「西海の牛」ブランド発信拠点事業	ブランド確立のための食肉加工・販売・施設の整備	60,617	36,485	H23.9.2～ H23.11.21
22	長崎西彼農業協同組合	地産地消活性化事業	農産物直売所設備整備、イベント開催、広告・宣伝	11,588	7,725	H22.9.1～ H23.3.31	観光物産 (ハード)
22	佐世保直売所ネットワーク協議会	直売所システム強化育成事業	効率的な製品管理と消費者ニーズの的確な把握により、安定的・計画的な生産・出荷管理につなげるためのPOSレジシステムの導入	12,300	8,200	H23.8.1～ H23.10.30	観光物産 (ハード)
21	平戸市 (p.24 参照)	田平港シーサイドエリア再生基本計画調査事業	田平港後背地及び周辺施設の有効活用のための計画策定	3,360	2,520	H22.1.14～ H22.3.31	企画調査支援
22		田平港シーサイドエリア活性化事業	交通・物流・観光の拠点となる総合施設の整備	794,654	635,723	H22.4.16～ H23.11.30	地域振興プロジェクト等支援
22	松浦市ふれあい加工クラブ	農産物加工所作業場建設事業	農産物加工所作業場の建設	3,678	2,295	H23.2.25～ H23.5.23	観光物産 (ハード)

- ・農業用省力化機械の導入やみかん選果ラインの改修整備、お茶加工施設の整備等、地域の農林水産業用機械・設備の整備や、直売所・加工所の施設整備、機能強化等への支援を実施した。

イ. 物産プロモーション

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
19	さきと伊勢海老祭り実行委員会	イセエビを活用した都市漁村交流事業	西海市内協賛店でイセエビをはじめとする食材の格安提供販売を行い、地産地消及び他の観光資源と連携した集客を図る	789	525	H19.8.20～ H19.12.28	観光物産 (ソフト)
20				930	619	H20.9.2～ H21.3.30	観光物産 (ソフト)
21	佐世保魚市場水産物流通観光促進協議会	流通販売及び観光誘致事業	佐世保魚市場及び併設直売所への観光客誘客促進	1,564	1,042	H22.1.21～ H22.3.31	観光物産 (ソフト)
22				11,595	6,996	H22.4.1～ H23.3.31	観光物産 (ソフト)
21	全国朝市サミット協議会	全国朝市サミット in させば	全国朝市サミット、全国朝市物産展の開催	3,688	2,170	H21.6.15～ H21.11.30	観光物産 (ソフト)
22	(株)イー・エス・九広佐世保支社	県北地域の観光・物産プロモーション事業	物産展開催、プロモーションによる情報発信	7,874	5,248	H23.1.5～ H23.4.30	観光物産 (ソフト)
20	(社)松浦魚市場協会	松浦おさかなまつり開催事業	魚市場を公開して各種イベント実施、魚食普及、水産物の消費拡大	4,522	3,014	H20.8.18～ H20.12.12	観光物産 (ソフト)
21				4,455	2,970	H21.7.1～ H21.12.10	観光物産 (ソフト)
19	めし碗グランプリ実行委員会	めし碗グランプリ&新商品開発・販路拡大事業	めし碗をテーマとしたコンテストの開催と、優秀作品の波佐見焼技法による新商品開発	2,644	1,666	H19.6.20～ H20.1.30	観光物産 (ソフト)
20				3,024	1,886	H20.7.1～ H21.3.31	観光物産 (ソフト)
21	NEW WAVE HASAMI	土による造形展	県立美術館県民ギャラリーにおける波佐見焼の企画・展示展実施	1,544	1,000	H21.7.21～ H21.11.5	観光物産 (ソフト)
22	プロジェクト波佐見焼	波佐見焼世界進出事業	波佐見焼の海外販路拡大のための市場調査、試作品開発、展示会開催	13,333	8,888	H22.9.1～ H23.3.31	観光物産 (ソフト)

- ・ イベント開催や商品開発、販路拡大等、物産振興のための情報発信等に対する支援を実施した。

(3) 企画調査支援事業

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
20	長崎市	世界遺産登録推進事業	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の早期の世界文化遺産登録を目的とした構成資産に関する各種調査及び計画策定	12,468	8,312	H20.4.24～ H21.3.31	企画調査支援
21		「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」登録推進事業	調査及び保存管理計画策定、市民と協働するための体制づくり	4,096	3,071	H21.6.9～ H22.3.31	企画調査支援
21		九州・山口の近代化産業遺産群」登録推進事業	構成資産の史料調査、関係県市連携による登録推進	3,151	2,362	H21.6.9～ H22.3.31	企画調査支援
22				6,881	5,160	H22.4.1～ H23.3.31	企画調査支援
20	佐世保市	黒島地区文化的景観調査及び景観計画策定、黒島天主堂保存管理計画策定事業	「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」の早期の世界文化遺産登録を目的とした構成資産に関する各種調査及び計画策定	10,031	6,687	H20.7.2～ H21.3.31	企画調査支援
21		黒島地区文化的景観調査事業	世界遺産登録のための調査、保存計画策定に向けた啓発	1,337	1,003	H21.4.1～ H22.3.31	企画調査支援

- ・長崎市、佐世保市による「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」及び「九州・山口の近代化産業遺産群」の世界遺産登録に向けた調査、計画策定等の支援を行った。
- ・その他、工業団地適地調査、各地域の資源を生かした地域活性化策の検討・計画策定、史跡の保存活用に向けた発掘調査等（p.28 参照）を実施している。

(4) 炭鉱跡地活用等支援事業

- 炭鉱跡地活用等支援事業は、炭鉱跡地の活用を図るため、新たに観光・物産・農林水産業の施設用地や保険・福祉施設用地などの用途に使用するために行う炭鉱跡地の取得及び基盤整備事業を支援するもので、その活用実績は下表のとおりである。
(各事業の効果等は、「掲載ページ」参照)

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	掲載ページ
19	長崎市	軍艦島整備事業	軍艦島を新たな観光資源として活かすため、上陸用施設等を整備する。	103,737	50,000	H19.4.1～ H21.3.31	p.13
22	西海市	医療・福祉複合施設誘致用地取得事業	炭鉱住宅跡地に病院、福祉施設を一体的に整備するための用地取得・既存建物除去	106,181	50,000	H22.10.15～ H22.12.28	p.36

医療・福祉複合施設誘致用地取得事業(西海市崎戸・大島地区)(再掲)

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
22	西海市	医療・福祉複合施設誘致用地取得事業	炭鉱住宅跡地に病院、福祉施設を一体的に整備するための用地取得・既存建物除去	106,181	50,000	H22.10.15～ H22.12.28	炭鉱跡地活用

- 西海市では、行政改革大綱に定めた民営化の方針に基づき、また、市立病院の医療の現状を改善するために、市立病院(大島町) 特別養護老人ホーム大崎やすらぎ荘(大島町) 養護老人ホーム緑風園(崎戸町)の3施設を一体的に民間移譲するため、医療・福祉複合施設の建設用地として施設移譲先に無償貸与する土地の取得及び既存建物の除却を行った。
- 貸与先の社会福祉法人福医会では、平成23年4月に3施設の移譲を受けるとともに、当該用地に新たな施設を建設し、平成24年3月12日に「西海医療福祉センター」がオープンした。
- この施設には、人工透析も行う有床診療所と介護療養型老人保健施設、特別養護老人ホームが併設されており、崎戸・大島地域における医療・福祉の拠点となることが期待されている。

「西海医療福祉センター」の概要

敷地：西海市大島町字間瀬 1876-59 宅地 3,897.71 m²

構造：鉄筋コンクリート造 6階建 7,005.00 m²

有床診療所：病床数 14 床

介護療養型老人保健施設：定員 40 人

特別養護老人ホーム：定員 60 人(うちショートステイ 8 人)

西海医療福祉センター



写真提供：西海市

(5) 特認事業

新規就労促進施設整備等支援事業

- ・新規就労促進施設整備等支援事業は、急激な雇用状況の悪化に対する緊急雇用対策等を目的として平成21年度から新設された助成メニューで、県が補助する新規就労促進のための施設整備等に対し、市町が既存の補助額を超えてさらに上乗せ補助を行うために要する経費を支援するものである。
- ・漁協が新規漁業就業者へリースするために漁船を購入する経費に対する西海市の上積み助成を支援し、8隻の漁船(対象新規就業者8名。うち離島4名)を導入した。

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
21	西海市	漁船取得リース事業	新規漁業就業者へリースするための漁船購入に対する助成	4,772	3,817	H21.9.4～ H22.3.31	その他の特認
22		平成22年度漁船取得リース事業	新規漁業就業者へリースするための漁船購入に対する助成	9,885	7,907	H22.10.28～ H23.3.17	その他の特認

地域振興プロジェクト等支援事業

- ・地域振興プロジェクト等支援事業は、雇用創出、交流人口の拡大などの地域振興効果が事業実施地域のみにとどまらず、周辺地域への広域的波及効果が期待できる地域振興上中核となる戦略的な位置付けをされる施設整備等を実施する市町支援するため、平成21年度から新設された助成メニューで、その活用実績は下表のとおりである。

(各事業の効果等は、「掲載ページ」参照)

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	掲載ページ
21	川棚町	川棚大崎半島多目的交流広場整備事業	多目的人工芝グラウンドの整備	162,973	130,378	H22.3.10～ H23.11.30	p.20
22	佐世保市	動植物園活性化事業	亜熱帯動植物園魅力向上のための整備	161,108	104,010	H22.6.8～ H23.8.31	p.22
22	松浦市	国民宿舎つばき荘施設整備事業	国民宿舎つばき荘の建て替え整備	428,299	322,008	H22.4.20～ H23.3.31	p.27
22	西海市	地域間交流施設整備事業	太陽光を利用した屋内プール等の整備	164,939	131,951	H22.9.30～ H23.11.17	p.17
22	西海市	瀬戸港臨港施設整備事業	瀬戸港臨港施設の一体的整備	134,789	107,830	H22.7.9～ H23.11.11	p.17
22	波佐見町	1級町道西前寺線道路改良事業	波佐見温泉・波佐見温泉商店街へのアクセス道路拡幅改良	58,212	46,569	H22.10.12～ H23.5.11	p.19
22	平戸市	田平港シーサイドエリア活性化事業	交通・物流・観光の拠点となる総合施設の整備	794,654	635,723	H22.4.16～ H23.11.30	p.24
22	長崎市	池島産業遺産活用事業	産業遺産観光客受け入れ拡大のための池島炭鉱施設の改修整備及び閉山10周年記念事業の開催	45,038	36,000	H23.4.1～ H23.11.25	p.16

知事特認事業

- ・「知事特認事業」は、産炭地域の振興に効果的な事業で、理事会が必要と認め、かつ、知事の承認を得た事業で、その活用実績は下表のとおりである。
(各事業の効果等は、「掲載ページ」参照)

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	掲載ページ
19	西海市	松島西泊地区排水路整備事業	西海市松島西泊地区のボタ堆積地において、生活環境改善のための恒久的な排水路を整備する。	31,055	20,703	H19.12.11～ H20.5.14	p.38
20	長崎次世代エネルギーパーク運営協議会	長崎次世代エネルギーパーク展示施設等整備事業	長崎次世代エネルギーパークや新エネルギー関連設備、県内の新エネルギー関連企業等を紹介するための展示施設整備	19,826	14,869	H20.9.2～ H21.3.31	p.9
20	更正会社ハウステンボス(株)	長崎次世代エネルギーパーク太陽光発電設備整備事業	長崎次世代エネルギーパークの中核施設として、ハウステンボス内に NEDO (独立行政法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構) との共同研究による大規模太陽光発電設備を整備	365,062	273,037	H20.7.28～ H21.3.13	p.9
22	西海市	松島西泊ボタ流出環境整備事業	ボタ地海岸の浸食・流出防止のための植生カゴ枠擁壁工事	40,158	32,126	H23.2.25～ H23.12.8	p.38
22	西海市	西海市高度情報整備事業補助金	光ファイバ未整備地区に高度情報通信基盤を構築するため、民間ケーブル会社が実施するケーブル敷設等に対する市補助	49,100	36,825	H23.2.1～ H23.10.31	p.17

西海市松島西泊地区ボタ流出対策(再掲)

(単位：千円)

年度	事業主体	助成事業名	事業内容	対象事業費	助成金額	事業期間	助成メニュー
19	西海市	松島西泊地区排水路整備事業	西海市松島西泊地区のボタ堆積地において、生活環境改善のための恒久的な排水路を整備する。	31,055	20,703	H19.12.11～ H20.5.14	その他の特認
22		松島西泊ボタ流出環境整備事業	ボタ地海岸の浸食・流出防止のための植生カゴ枠擁壁工事	40,158	32,126	H23.2.25～ H23.12.8	その他の特認

- ・西海市大瀬戸町松島の西泊地区では、昭和 30 年代までに水洗炭業⁴者が放置したボタが波浪によって侵食され、流出したボタが集落前面の海岸に堆積しており、生活排水の流末が阻害されて、悪臭の発生など生活環境の悪化を招いていた。
- ・そのため、旧大瀬戸町や西海市では、夏場に素掘りの排水路を確保する等の対応を行ってきたが、ボタにより度々排水路が埋塞され、効果的な対策となっていなかったことから、平成 19 年度の夏前に県単独工事として緊急的な排水路工事を実施するとともに、波浪の影響を受けない恒久的な排水路の建設について、県から西海市に対して技術的な助言を行い、活性化基金を活用した市の事業として恒久的な排水路整備を行った。
- ・また、平成 21 年度には、ボタの堆積に伴う越波防止のため、県単独事業により、約 1 m の護岸天端高の嵩上げを約 100m 実施した。
- ・さらに、集落周辺への新たなボタ堆積を防止するため、平成 22 年度から 23 年度にかけて、活性化基金を活用した市の事業としてボタ捨場侵食崖の崩落防止のためのカゴ枠擁壁工事を実施した。

⁴ 水洗炭業：石炭の掘採により生じた廃石(ボタ)を水洗することにより石炭を採取する事業及び石炭を水洗する事業